

STIEBEL ELTRON

熱交換換気システム

取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型 名…… ●LWZ-130J
●LWZ-130JE

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP.1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 特長	3
3. 各部のなまえ	4
3-1. LWZ-130Jの各部のなまえ	4
3-2. LWZ-130JEの各部のなまえ	4
3-3. コントローラの表示内容	5
4. ご使用方法	7
4-1. 設定の変更	7
4-2. 風量の選択	8
4-3. 運転情報の切り替え	9
4-4. ダイレクト設定の変更	9
4-5. お手入れ時のロック	10
5. 各種設定変更	11
5-1. 運転情報	11
5-2. 運転状態	11
5-3. プログラム	12
5-4. グループ設定	13
6. 日常の点検とお手入れ	17
6-1. フィルター清掃と交換	17
6-2. 住宅内の給排気グリル、 屋外の換気フードの清掃	18
6-3. 専門業者による定期清掃	18
7. 故障かな?と思ったら	19
8. 点検および修理について	20
9. 仕様	21

取付説明書

1. 安全上のご注意	23
2. 各部のなまえと外形寸法	26
2-1. LWZ-130Jの各部のなまえ	26
2-2. LWZ-130JEの各部のなまえ	26
2-3. コントローラの各部のなまえ	27
2-4. 標準構成部品	27
2-5. オプション部品	27
3. 機器の設置	28
3-1. 機器の固定	28
3-2. ダクト配管	29
3-3. ドレン配管 (LWZ-130Jのみ)	30
3-4. 点検口の設置	30
4. 電気配線とコントローラの固定	31
4-1. 機器内部配線	31
4-2. コントローラの固定と 通信ケーブルの接続	32
5. 各種設定変更	34
5-1. 運転情報	34
5-2. 運転状態	35
5-3. プログラム	35
5-4. グループ設定	36
5-5. ダイレクト設定の変更	41
5-6. 施工者設定モードの パラメーター一覧	42
5-7. エラーコード一覧	43
6. 試運転	44
保証書	45




1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------


■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。


 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。


警告


禁止


 絶対に改造はしないでください。

 濡れた手でコントローラを操作や、機器のフィルター交換をしないでください。


 コントローラに水をかけないでください。また、機器や、コントローラが災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。


 可燃性のガスが漏れた場合は、機器を操作しないでください。


 機器の近くや、お部屋の給排気口近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管しないでください。


 機器は、お手入れ中以外は停止しないでください。(除湿運転による停止を除く。)

指示

 機器に異常が発生した場合は、機器専用のブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

 機器の移設は、必ず専門業者に依頼して行なってください。


 機器とコントローラが、正しく取り付けられ、機器とコントローラがしっかりと固定されていることを確かめてください。

 補強を行なっていても震災、その他の天変地異で落下する可能性があります。万が一落下した場合は、下記の①～③を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

① 機器専用のブレーカを「切」(OFF) にしてください。




② 落下物がある場合は取り除いてください。

③ 建物が揺れている間は機器、及び機器の点検口に近づかないでください。




 子供や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

注意











禁止

-  機器の上に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
-  ファンモーターが故障し動いていない場合は、そのまま使用しないでください。
-  ドレン配管が詰まる、または接続されていない状態では使用しないでください。(LWZ-130Jのみ)

注意

-  フィルターの点検清掃をする場合は、怪我をしないように気を付けてください。
-  機器運転中は、フィルターカセットを必ず機器に固定した状態にしてください。
-  夏場にエアコンの設定温度を下げ過ぎると、機器からの水漏れが発生する可能性があります。

指示

-  機器の点検口下に300mm以上の離隔を開けてください。
-  フィルターが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除をしてください。
-  フィルターの点検清掃をする場合は、必ず機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。
-  フィルターを機器に戻す際は、フィルターの向きを間違えないようにしてください。
-  ドレン配管が詰まると、漏水の原因となりますので定期的に掃除してください。(LWZ-130Jのみ)
-  ドレン配管を点検清掃する場合は、必ず機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。(LWZ-130Jのみ)
-  設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。
-  台風や強い雨、及び吹雪、霧が発生した場合等、外気が高湿度の場合は、機器内部で水滴が発生して滴下することがありますので、運転を一時的に停止してください。
-  機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
-  機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。

2. 特長

LWZ-130J、及びLWZ-130JE、並びに付属のコントローラは、給気と排気の2つの送風機（EC遠心ファン）を利用して、屋外の新鮮な空気を屋内に取り入れ、屋内の汚れた空気を排出します。その際、排出する空気から高効率で熱回収を行ない、屋外から取り入れる新鮮な空気に回収した熱を効率よく加えます。これにより、暖冷房負荷の削減に寄与できる換気システムです。LWZ-130J、LWZ-130JE（本書では「機器」と表記）を天井裏に設置することで室内の空間を占有することがありません。

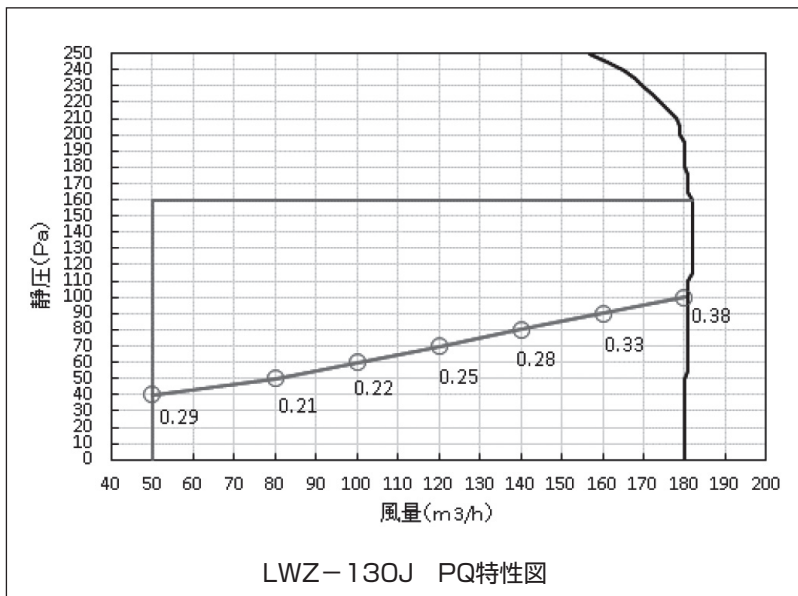
操作は、壁面に設置したコントローラで行ないます。5m³/h単位できめ細かく設定風量を変更できるため、換気による無駄なエネルギーロスをカットすることができます。

●プレヒーター

寒冷地において、厳冬期でも新鮮空気を加熱することで換気量を維持すると共に高い熱交換効率を維持することができます。

●プログラム運転

在宅する予定に基づき、換気風量を自動的に切り替えることで快適性を維持したままで、省エネすることができます。



●LWZ-130J顕熱交換型換気システム

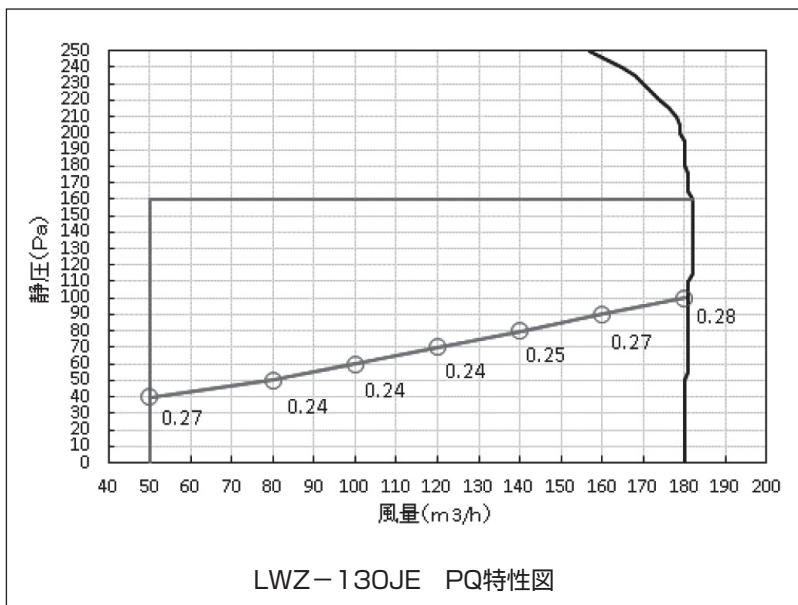
室内で発生した臭気や、湿気等が新鮮な外気と交わらないシステムです。

湿気が多い場所も機器1台で換気可能になります。

●LWZ-130JE全熱交換型換気システム

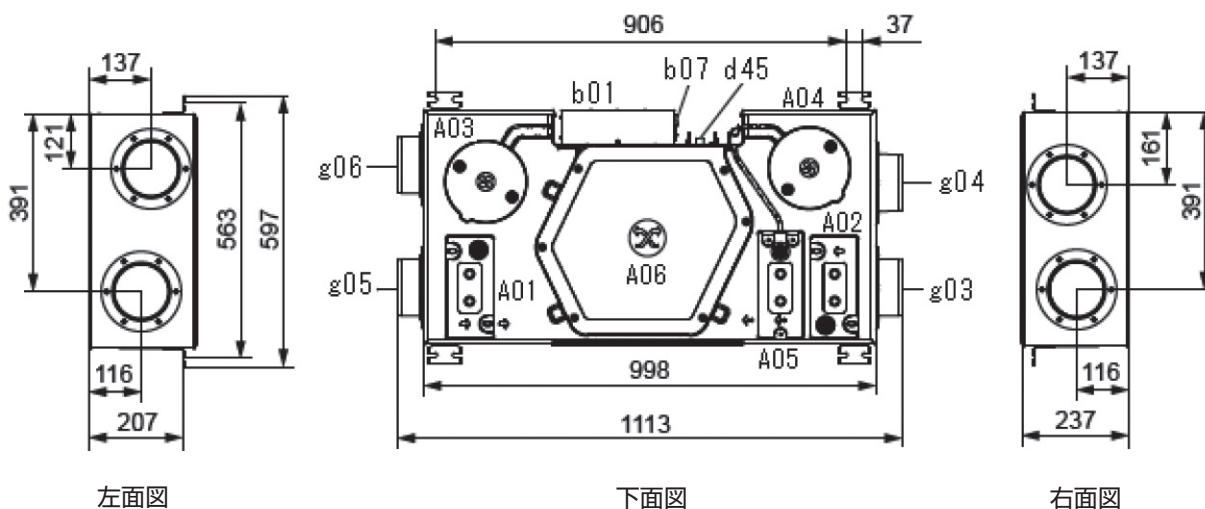
住宅内の湿気に含まれる熱も熱回収する高効率システムです。

住宅内の湿度維持にも貢献します。



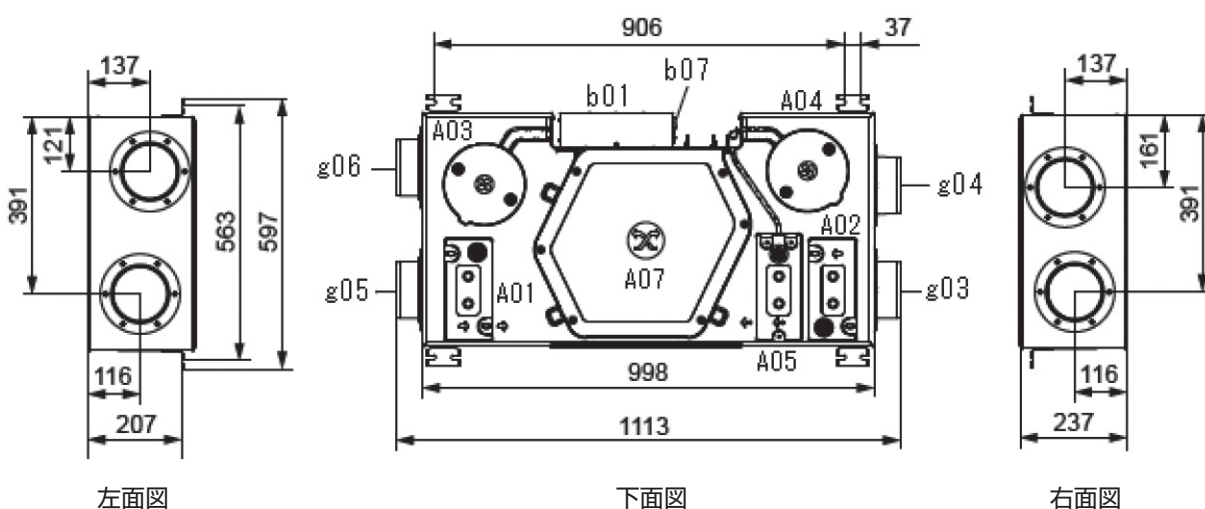
3. 各部のなまえ

3-1. LWZ-130Jの各部のなまえ



図番	名称	図番	名称	図番	名称
A01	室内側フィルターカセット	A06	ドレンパン	g03	外気接続口 (OA)
A02	屋外側フィルターカセット	b01	制御ボックス	g04	排気接続口 (EA)
A03	給気用ファンモーター	b07	ケーブル引き出し口	g05	還気接続口 (RA)
A04	排気用ファンモーター	d45	ドレン管接続口	g06	給気接続口 (SA)
A05	プレヒーター	—	—	—	—

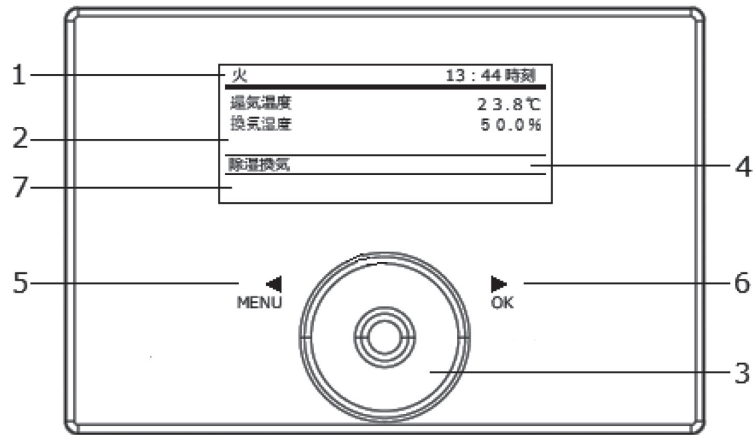
3-2. LWZ-130JEの各部のなまえ



図番	名称	図番	名称	図番	名称
A01	室内側フィルターカセット	A05	プレヒーター	g03	外気接続口 (OA)
A02	屋外側フィルターカセット	A07	素子カバー	g04	排気接続口 (EA)
A03	給気用ファンモーター	b01	制御ボックス	g05	還気接続口 (RA)
A04	排気用ファンモーター	b07	ケーブル引き出し口	g06	給気接続口 (SA)

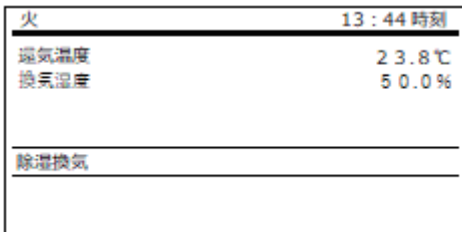
3-3. コントローラの表示内容

3-3-1. コントローラの表示



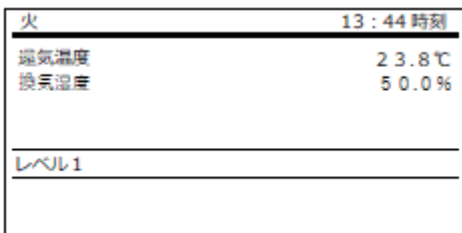
番号	名称	機能
1	日付時刻表示	曜日/時刻/設定内容を表示します。
2	運転情報表示	フィルター使用時間/室内温度/室内湿度等を任意で表示します。
3	タッチホイール	選択した項目の数値を増減します。
4	状態表示	現在の運転状態を表示します。
5	MENUボタン	設定変更画面に移行します。
6	OKボタン	設定の確定等を行ないます。
7	サブ表示	タイマー運転状態/フィルター交換情報等を表示します。

3-3-2. 初期表示の詳細



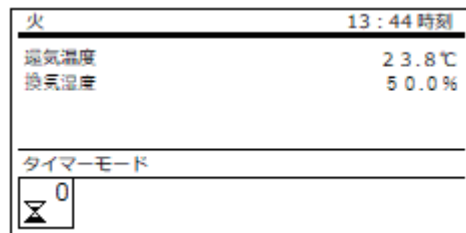
除湿運転：

風量レベル0で運転し、設定湿度以下になると換気を停止します。



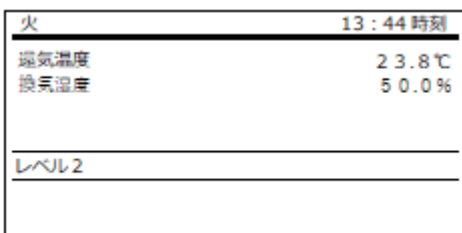
弱運転：

風量レベル1で運転します。



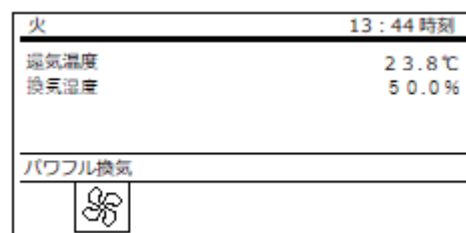
タイマーモード：(上図は、除湿運転時)

運転スケジュールに従い運転状態を自動変更します。



通常運転：









風量レベル2で運転します。



パワフル換気：

所定の時間、風量レベル3で運転します。

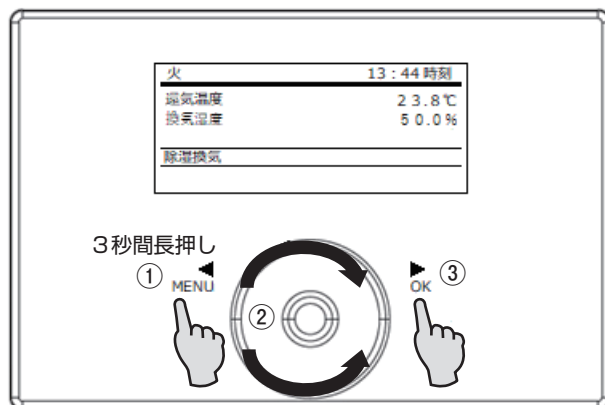
3-3-3. サブ表示のアイコン詳細

アイコン	アイコン名称	表示内容
	タイマーモード 除湿運転	タイマーモードで除湿運転の風量レベル0で運転します。
	タイマーモード 弱運転	タイマーモードで弱運転の風量レベル1で運転します。
	タイマーモード 通常運転	タイマーモードで通常運転の風量レベル2で運転します。
	パワフル換気	パワフル換気の風量レベル3で運転します。
	フィルター清掃	フィルターの清掃が必要になると点灯します。
	換気停止	換気運転が停止しています。
	エラー 機	機器にエラーが発生している際に点灯します。
	デフロスト運転	プレヒーターが動作する等、デフロスト運転中に点灯します。

4. ご使用方法

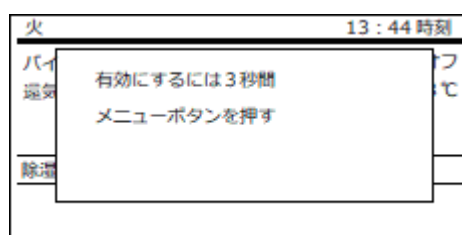
4-1. 設定の変更

- ①「MENUボタン」を3秒間長押しします。
- ②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、確認したい状態を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、確定します。



MEMO

- 「MENUボタン」を長押しせずに操作をすると右図の表示となります。



時計回り

反時計回り

時計回り

タイマーモードへ
反時計回り

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
除湿換気	

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
レベル1	

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
レベル2	

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
タイマーモード	
0	

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
パワフル換気	

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
運転情報	

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
ダイレクト設定	

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
お手入れ時のロック	

パワフル換気へ

4-2. 風量の選択

①[P. 7 4-1項]の「メニューボタン」を3秒間長押し後に以下の操作を行ないます。

4-2-1. 通常運転

風量レベル2の風量で運転します。

①「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、状態表示を「レベル2」にします。

②「OKボタン」を押して、状態表示「レベル2」を確定します。

火	13:44時刻
室温	23.8℃
換気率	50.0%
レベル2	

4-2-2. 弱運転

風量レベル1の風量で運転します。

就寝時や、不在時等に適した運転です。

①「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、状態表示の欄を「レベル1」にします。

②「OKボタン」を押して、状態表示「レベル1」を確定します。

火	13:44時刻
室温	23.8℃
換気率	50.0%
レベル1	

4-2-3. 除湿運転

設定湿度以上の場合、一定時間停止後に風量レベル0の風量で運転します。

設定湿度未満の場合、運転を停止します。

①「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、状態表示の欄を「除湿換気」にします。

②「OKボタン」を押して、状態表示「除湿換気」を確定します。

火	13:44時刻
室温	23.8℃
換気率	50.0%
除湿換気	

4-2-4. タイマーモード

曜日毎の運転スケジュールに従って、運転状態を自動変更します。

①「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、状態表示の欄を「タイマーモード」にします。

②「OKボタン」を押して、状態表示「タイマーモード」を確定します。



- 指定した曜日の指定した時間に、指定した風量に自動的に切り替わります。指定時間外になると自動的に元の風量に戻ります。

火	13:44時刻
室温	23.8℃
換気率	50.0%
タイマーモード	
	0

4-2-5. パワフル換気

所定の時間、風量レベル3の風量で換気します。

①「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、状態表示の欄を「パワフル換気」にします。

②「OKボタン」を押して、状態表示「パワフル換気」を確定します。

③所定の時間を経過すると元の運転に戻ります。

火	13:44時刻
室温	23.8℃
換気率	50.0%
パワフル換気	

4-3. 運転情報の切り替え

- ①「P.7 4-1 項」の「MENUボタン」を3秒間長押し後に以下の操作を行ないます。
- ②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、状態表示の欄を「運転情報」に設定して「OKボタン」を押します。
- ③「タッチホイール」で表示をさせたい、または表示を消したい項目を選択して、「OKボタン」を押します。

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
運転情報	

MEMO

- 項目の左横にF1 / F2 / F3と表示されている項目が現在の表示です。

/グル/運転情報	
F1	室温 ▶
F2	室温 ▶
	フィルター使用時間 ▶
	機器 ソフトウェアのバージョン ▶
	機器 ソフトウェアのバッチ ▶

/グル/運転情報	
	端末機器のシリアル番号 ▶
	戻る ▶

- ④③で選択F1 / F2 / F3のいずれで表示をするか（表示を消すか）を選択して「OKボタン」を押します。

MEMO

- 四角の欄が■の場合は、表示します。
- 四角の欄が□の場合は、表示を消します。

/グル/運転情報		
F1	室温 ▶	■
F2	室温 ▶	■
F3		□
	戻る ▶	

- ⑤「MENUボタン」を初期表示になるまで複数回押すか、初期表示になるまで「戻る」を選択し続けることで初期表示に戻ります。

4-4. ダイレクト設定の変更

- ①「P.7 4-1 項」の「MENUボタン」を3秒間長押し後に以下の操作を行ないます。
- ②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、状態表示の欄を「ダイレクト設定」に設定して「OKボタン」を押します。
- ③「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、設定したい項目を選択します。

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
ダイレクト設定	

- ④「OKボタン」を押して③で選択した項目を変更できるようになります。

/戻る/ダイレクト設定	
+ P1 Set room temperature -	

- ⑤「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。

/戻る/ダイ/室温設定	
+ 20.0℃ -	

✓ご注意

- 施工者用パスコードが要求される項目は変更しないでください。

/戻る/ファン制御	
+ 0 * * * -	

ダイレクト設定一覧

表示	項目	初期	単位	最小値	最大値	備考
P 2	パワフル換気の継続時間	30	分	1	240	パワフル換気の動作時間
P 4	フィルター 清掃アイコン	オフ		オフ/オン		点灯しているフィルター清掃アイコンを消せます。
P 6	風量レベル0					施工者用
P 7	風量レベル1					施工者用
P 8	風量レベル2					施工者用
P 9	風量レベル3					施工者用
P 14	給気量の補正					施工者用
P 15	湿度測定の待機時間					施工者用
P 16	湿度計測時間設定					施工者用
P 17	設定湿度					施工者用
P 18	デフロスト開始温度					施工者用
P 19	フィルター交換間隔					施工者用
P 22	プレヒーターの作動					施工者用
P 28	ファンの作動	オン	—	オン/オフ		オン：機器が動作 オフ：機器が停止
P 29	機器タイプ					施工者用
P 30	デフロスト開始温度					施工者用
P 31	湿度制御の作動					施工者用
P 32	湿度制御の作動					施工者用
P 35	冷房 / 暖房					施工者用
P 70	メッセージリストの削除					施工者用
P 80	時刻 / 日付	—	—	月 / 火 / 水 / 木 金 / 土 / 日		月：月曜日 火：火曜日 水：水曜日 木：木曜日 金：金曜日 土：土曜日 日：日曜日
P 81	時刻 / 日付	—	—	00 : 00	23 : 59	—

4-5. お手入れ時のロック

- ①「P.7 4-1項」の「MENUボタン」を3秒間長押し後に以下の操作を行ないます。
- ②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、状態表示の欄を「お手入れ時のロック」に設定して「OKボタン」を押します。
- ③「OKボタン」を押した後、右図のカウントダウンが始まり、60秒間、機器が停止します。
- ④カウントダウン終了後、元の表示に戻ります。

火	13:44 時刻
室温温度	23.8℃
換気湿度	50.0%
お手入れ時のロック	

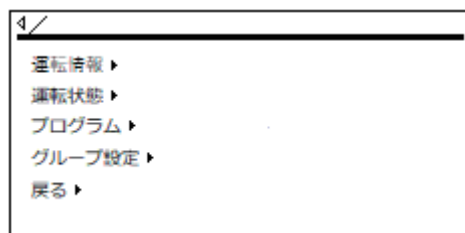
56 s Maintenance

MEMO

- 60秒以内に終わる確認、一時的に停止させる等以外は、機器のブレーカを「切」(OFF)にしてください。

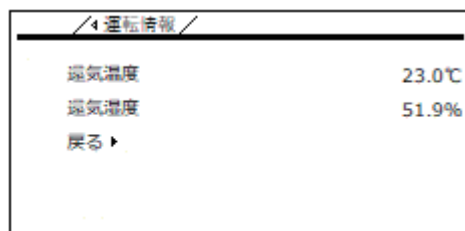
5. 各種設定変更

- ①「P.7 4-1項」の「MENUボタン」を3秒間長押し後に以下の操作を行ないます。
- ②「MENUボタン」を押して、メニュー表示を開きます。
- ③「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



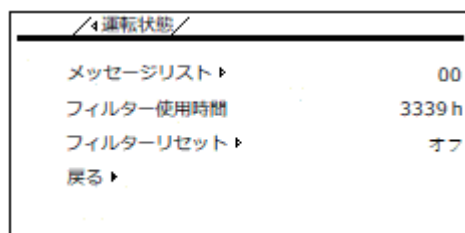
5-1. 運転情報

- ①メニュー表示で「運転情報」を選択して「OKボタン」を押すと、各種センサーからの情報内容が表示されます。
- ②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して表示内容を切り替えます。
- ③「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



5-2. 運転状態

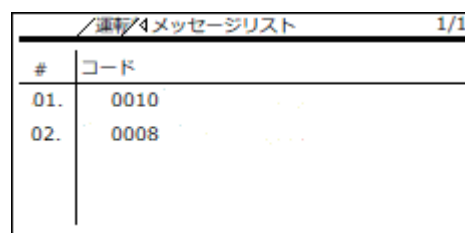
- ①メニュー表示で「運転状態」を選択して「OKボタン」を押すと、各種運転状態が表示されます。
- ②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して表示内容を切り替えます。
- ③「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



(1) メッセージリスト

- ①「メッセージリスト」の横のカウンターに「00」以外の数値が記載されている場合は、「タッチホイール」で「メッセージリスト」を選択して、「OKボタン」を押すと、エラーコードが表示されます。

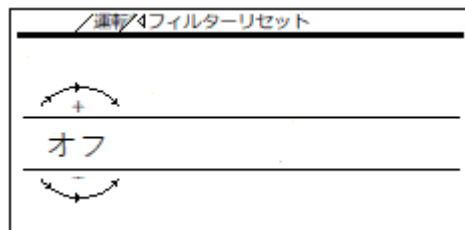
- ②「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



(2) フィルターリセット

- ①「フィルターリセット」を選択した後、「タッチホイール」で「オン」を選択して「OKボタン」を押すと、「フィルター清掃」のアイコンが消えます。

- ②「フィルターリセット」の設定は、自動的に「オフ」になり、前の画面に戻ります。

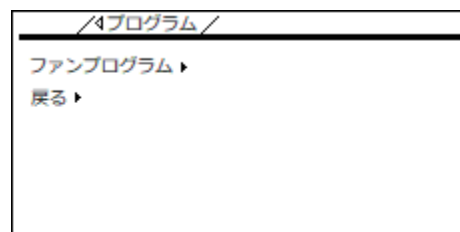


MEMO

- 前の画面に戻らない場合は、「MENUボタン」を押してください。

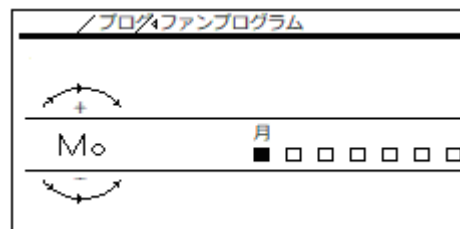
5-3. プログラム

- ①メニュー表示で「プログラム」を選択して「OKボタン」を押すと、ファンプログラムが表示されます。
- ②「タッチホイール」で「ファンプログラム」を選択して、「OKボタン」を押します。



曜日の設定

- ③「タッチホイール」でタイマーモードにした場合にファンプログラムが働く曜日を選択して「OKボタン」で確定します。



MEMO

- 月～日の各曜日、月一金、土日、月一日一括の10種類のプログラムを登録できます。

ご注意

- 時間が重複しないように注意してください。

- ④ファンプログラムで風量が切り替わる時間のプログラムを、「タッチホイール」で選択します。

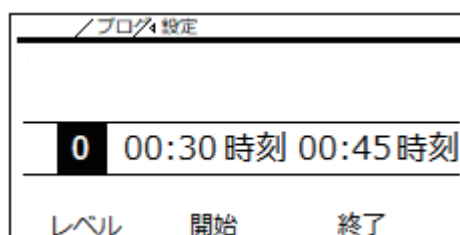
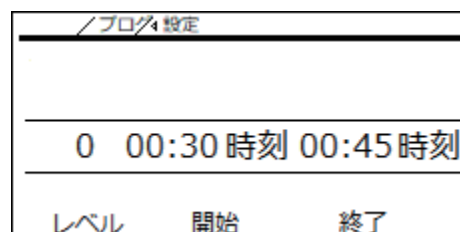


MEMO

- 10種類のプログラム毎に最大3回の時間帯を設定できます。

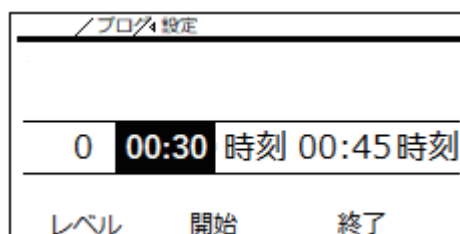
風量の設定

- ⑤「タッチホイール」で風量レベルを選択して「OKボタン」を押します。「タッチホイール」で風量レベル0～2を選択して「OKボタン」を押して確定します。



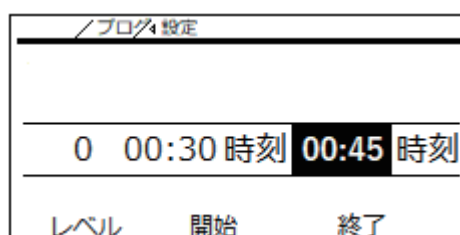
開始時間の設定

- ⑥「タッチホイール」で風量レベルを切り替える開始時間を選択して「OKボタン」を押します。「タッチホイール」で時間(15分単位)を設定して「OKボタン」を押して確定します。



終了時間の設定

- ⑦「タッチホイール」で風量レベルを元に戻す終了時間を選択して「OKボタン」を押します。「タッチホイール」で時間(15分単位)を設定して「OKボタン」を押して確定します。



- ⑧「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。

5-4. グループ設定

①メニュー表示で「グループ設定」を選択して「OKボタン」を押すと、各種設定の確認、または変更が可能となります。

/4グループ設定/	
モード▶	標準
基本▶	
風量▶	
運転情報▶	
除湿換気▶	

②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して変更したい設定を選択して「OK」ボタンを押します。

/4グループ設定/	
パワフル換気▶	
デフロスト▶	
凝結水防止▶	
ファンの作動▶	オン
機器情報▶	

③「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/4グループ設定/	
戻る▶	

5-4-1. モード

①「タッチホイール」で「標準」／「サービス」／「エキスパート」をパスコード入力の上で選択できますが、初期表示の「標準」からは切り替えないでください。

/4グループ設定/	
モード▶	サービス
基本▶	
ファン制御▶	定風量
風量▶	
運転情報▶	

/4グループ設定/	
モード▶	エキスパート
基本▶	
ファン制御▶	定風量
風量▶	
運転情報▶	

/グル/4モード	

5-4-2. 基本

①時刻／日付の修正、言語の選択、表示のコントラスト／明るさの調整、タッチホイールの感度／速度の調整、操作用ソフトウェアのバージョンを確認することができます。

/グル/4基本	
時刻/日付	13:47 火
言語	日本語
コントラスト	02
明るさ	50 %
タッチホイール感度	04

②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。

/グル/4基本/	
タッチホイール速度	06
操作用ソフトウェア	v1.0.03.0000
戻る▶	

(1) 時刻／日付

①「時刻／日付」を選択すると、曜日、時、分をそれぞれ「タッチホイール」で選択します。

②選択した項目で「OKボタン」を押して、「タッチホイール」で修正します。

③曜日、時、分それぞれ修正後に「OKボタン」を押して確定します。

④「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。



●プログラム運転をご使用になる際は、必ず曜日と時刻が正しいことを定期的
に確認してください。

/ グル / 基本 / 時刻 / 日付	
火	14 : 02
曜日	時 : 分

/ 戻る / タッチ / 時刻 / 日付	
火	14 : 02
曜日	時 : 分

/ 戻る / タッチ / 時刻 / 日付	
火	14 : 02
曜日	時 : 分

/ 戻る / タッチ / 時刻 / 日付	
火	14 : 02
曜日	時 : 分

(2) 言語

①「言語」を選択すると、表示したい言語を登録されている中から「タッチホイール」で選択します。

②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。



●日本国内では他国言語に変更した場合のサポートは行なっておりません。必ず日本語の状態でご問い合わせをしてください。

/ グル / 基本 / 言語	
Deutsch	<input type="checkbox"/>
English	<input type="checkbox"/>
Francais	<input type="checkbox"/>
Nederlands	<input type="checkbox"/>
Italiano	<input type="checkbox"/>

(3) コントラスト

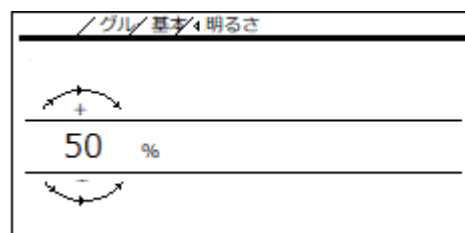
①「コントラスト」を選択すると、「タッチホイール」で1～10の10段階でコントラストを調整します。

②コントラスト調整後、「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。

/ グル / 基本 / コントラスト	
+ 02 -	

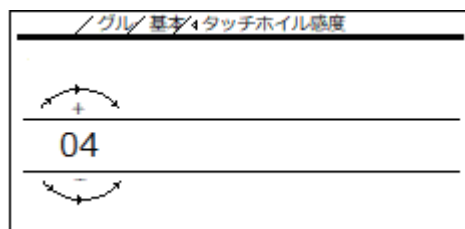
(4) 明るさ

- ①「明るさ」を選択すると、「タッチホイール」で1～100の100段階で明るさを調整します。
- ②明るさ調整後、「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。



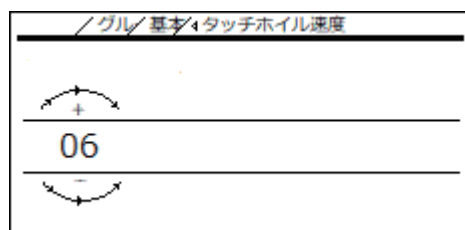
(5) タッチホイール感度

- ①「タッチホイール感度」を選択すると、「タッチホイール」で1～10の10段階でタッチホイールの感度を調整します。
- ②タッチホイールの感度を調整後、「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。



(6) タッチホイール速度

- ①「タッチホイール速度」を選択すると、「タッチホイール」で1～10の10段階でタッチホイールの速度を調整します。
- ②タッチホイールの速度を調整後、「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。

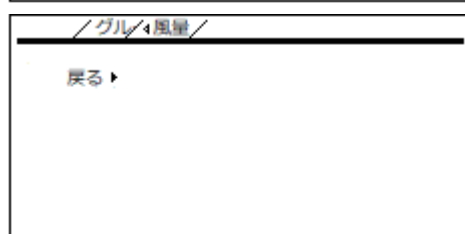


5-4-3. 風量

- ①風量レベルの設定変更を行ないたい場合は、設置業者にご連絡ください。

風量レベル0	60 m ³ /h
風量レベル2	140 m ³ /h
風量レベル1	200 m ³ /h
風量レベル3	350 m ³ /h
給気量の補正	00 m ³ /h

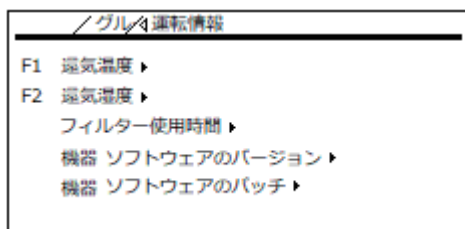
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



5-4-4. 運転情報

- ①初期画面の運転情報の表示内容を変更できます。

- ②「P. 9 4-3項」を参照して変更します。



5-4-5. 除湿換気

- ①除湿換気の設定変更を行ないたい場合は、設置業者にご連絡ください。

- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

湿度制御の作動	オン
除湿換気の間隔	01 h
設定湿度	65.0 %
湿度測定の待機時間	05 min
戻る	戻る

5-4-6. パワフル換気

- ①パワフル換気の設定変更を行ないたい場合は、設置業者にご連絡ください。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/ グル / パワフル換気 /	
パワフル換気の継続時間	240 min
戻る ▶	

5-4-7. デフロスト

- ①凍結防止の設定変更を行ないたい場合は、設置業者にご連絡ください。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/ グル / デフロスト /	
デフロスト開始温度	4.0℃
デフロスト停止温度	-3.0℃
プレヒーターの作動	オン
戻る ▶	

MEMO

- デフロスト開始温度=表示された温度までプレヒーターで外気温度を暖めます。
- デフロスト停止温度=外気温度が表示された温度以下になるとプレヒーターを通电します。
- プレヒーターの作動=内臓のプレヒーターの仕様の有無。

5-4-8. 凝縮水防止

- ①デフロスト時の運転条件の設定変更を行ないたい場合は、設置業者にご連絡ください。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/ グル / 凝縮水防止 /	
湿度制御の作動	オフ
デフロスト停止温度補正	0.0K
戻る ▶	

5-4-9. ファンの作動

- ①「ファンの作動」を選択すると、「タッチホイール」で機器のオン/オフを切り替えることができます。
- ②変更後「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。

✓ ご注意

- 住宅は24時間換気する必要があります。メンテナンスや修理の時以外は、オフにしないでください。

/ グル / ファンの作動 /	
+	
オフ	
-	

5-4-10. 機器情報

- ①機器情報の設定変更を行ないたい場合は、設置業者にご連絡ください。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/ グル / 機器情報 /	
機器ソフトウェアのバージョン	1201
機器ソフトウェアのバッチ	00
端末機器のシリアル番号	00
機器タイプ	LWZ 130
戻る ▶	

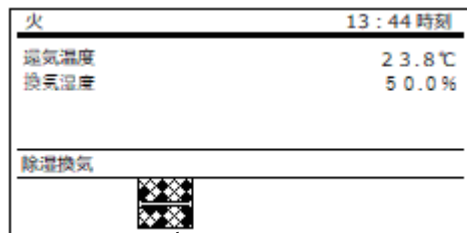
6. 日常の点検とお手入れ

通常は乾いた布で拭いてください。

汚れがひどい場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください

ベンジン、シンナー、及びクレンザー、ナイロン製のたわし等の使用は、コントローラを傷めますので絶対にやめてください。

フィルター清掃のアイコンが点灯した場合は、「P.11 5-2項」アイコンを消灯して、6-1項に従ってフィルターの清掃、または交換を行なってください。

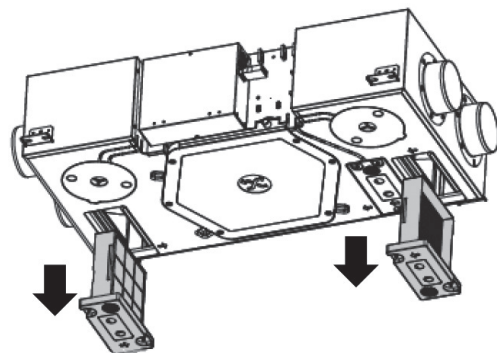


フィルター清掃のアイコン

6-1. フィルター清掃と交換

6-1-2. フィルターの清掃と交換方法

- ① 機器専用のブレーカを「切」(OFF)にして、コントローラの表示が消えていることを確認します。
- ② 機器専用の点検口を開きます。
- ③ フィルターカセットを固定している2本の蝶ネジを反時計回りに回して外します。

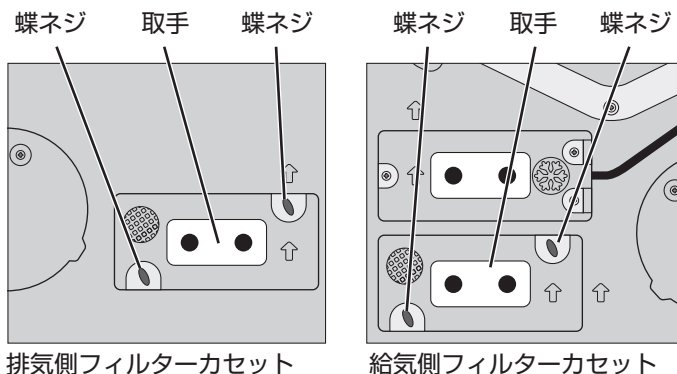


MEMO

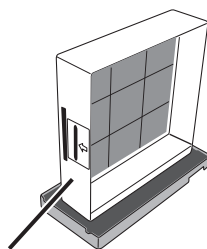
- 点検口の開閉は、点検口の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

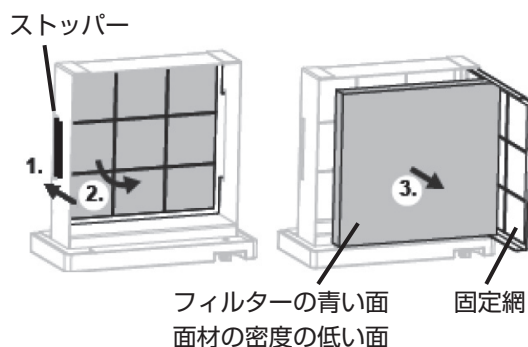
- プレヒーターを固定しているネジは、外さないでください。



- ④ 取手を引いてフィルターカセットを引き出します。
- ⑤ 青い面を正面に見て、左側のストッパーを背面側に押し固定網を開き、フィルターを取り出して、清掃、または交換を行ないます。



フィルターカセット



フィルターのカセット側の矢印
固定網

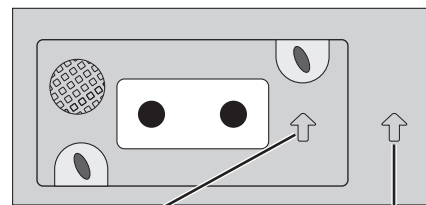
MEMO

- フィルターは、青い面が機器の外側に向くようにしてください。または、フィルターの側面を見て密度の低い側を外側に向くようにしてください。

- ⑥ 機器とフィルターカセットの矢印の向きを合わせて元の状態に戻してから機器のブレーカを「入」(ON)にします。

おねがい

- 1年に1回はフィルターの交換を行なってください。
- フィルターを水で洗わないでください。また、水に浸けないでください。



フィルターカセット側の矢印

機器側の矢印

6-1-3. 交換用フィルターのインターネットサイトからの購入について

機器本体の交換用フィルターは、右図のQRコードからのサイト、または下記のアドレスのサイトから購入することができます。



「<http://nihonstiebel-ec.shop-pro.jp/>」



●必ずご使用になっている機器をご確認の上、その機器に対応した交換用フィルターをご購入ください。

⑦作業終了後、機器専用のブレーカを「入」(ON)にして、コントローラの表示が点灯していることを確認します。

6-2. 住宅内の給排気グリル、屋外フードの清掃

- 各給排気グリル、または屋外フードの取扱説明書に従い清掃してください。
- 外気温度が低下している場合は、機器に結露が発生する場合があります。結露が発生した場合は、乾いた布等で吹いてください。

1) 給排気グリルが清掃されていないと下記の問題が発生する可能性があります。

- 住宅内で十分な換気がされない。
- 機器の消費する電力が大きくなります。
- 機器の動作音が大きくなります。

2) 屋外フードが清掃されていないと下記の問題が発生する可能性があります。

- 住宅内で十分な換気がされない。
- 機器の消費電力が大きくなります。
- 機器の動作音が大きくなります。

6-3. 専門業者による定期清掃

- お買い上げより3年を目処に定期清掃を行なうことで、LWZシリーズを永くご利用いただくことが可能になります。
- お買い上げより10年で、必ず専門業者による定期点検を受けてください。

7. 故障かな?と思ったら

現象	確認項目	処置方法	参照ページ
「換気停止」のアイコンが出ている。	コントローラ	ファンの作動が「ON」であることを確認してください。	P. 16 5-4-10
給気／排気が両方とも止まっている。	コントローラ	レベル0 除湿換気（設定湿度以下の場合は機器が停止）に設定されていないか確認してください。 レベル1、またはレベル2に設定します。	P. 7 4-1
	コントローラ	運転状態のメッセージリストで「OKボタン」を押して、表示されているコードを確認の上で、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。	P. 11 5-2
	ブレーカ	ブレーカが「入」（ON）であることを確認します。	—
給気、または排気が止まっている。	コントローラ	運転状態のメッセージリストで「OKボタン」を押して、表示されているコードを確認の上で、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。	P. 11 5-2
室内で結露が発生。	コントローラ	タッチホイールでレベル3のパワフル換気を利用して風量を増やしてください。	P. 7 4-1
	給排気グリル	室内の給排気グリルが閉じていないか確認してください。	—
風量が少ない。	コントローラ	タッチホイールでレベル0→レベル1→レベル2と大きくします。	P. 7 4-1
風量が多い。	コントローラ	タッチホイールでレベル2→レベル1→レベル0と小さくします。	P. 7 4-1
表示が消えている。	ブレーカ	ブレーカが「入」（ON）であることを確認します。	—
エラー表示が出ている。	コントローラ	運転状態のメッセージリストで「OKボタン」を押して、表示されているコードを確認の上で、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。	P. 11 5-2
異音がする。	フィルター	フィルターを清掃してください。	P. 17 6-1
	屋外フード	屋外フードを清掃します。	—
	給排気グリル	給排気グリルを清掃します。 開口が閉じている場合は、開きます。	—
機器本体から水が垂れる。	逆止弁	建築会社、または施工会社にご相談の上、ドレン配管上の逆止弁を清掃してください。	—
	ダクト接続部	建築会社、または施工会社にご相談ください。	—

上記で改善しない場合は、再度、機器専用のブレーカを「入／切」（ON／OFF）し状態が改善しないことを確認の上、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。

次の場合は、故障ではありません。

現象	処置方法	参照ページ
「換気停止」のアイコンが出ている。	機器の凍結防止用のプレヒーターが働いているためで異常ではありません。	—
風量を大きくすると、機器からの音が大きくなる。	風量を大きくするために、ファンの回転数を多くしているためで異常ではありません。	—
設定変更後に、通常と異なる動きをし始めた。	設定を確認しなおしてください。 変更した内容をお忘れの場合は、初期設定に戻してください。	P. 9 4-4

8. 点検および修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、P.19「7. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

TEL: 03-5715-4655

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ① 機種名 : 銘板ラベルに併記
- ② 製造番号 : 銘板ラベルに併記
- ③ 不具合の具体的内容 : ファンが回らない等の症状、及びご使用条件
- ④ お取付け年月日
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、フィルター等の消耗品を除き、保証書の記載に内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

おねがい

- お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。
- 電気の配線工事、ダクト/ドレンの配管工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

9.仕様

型名		LWZ-130J	LWZ-130JE
電源		100V 50/60Hz	
寸法	幅 (mm)	998	
	高さ (mm)	237	
	奥行 (mm)	517	
最大風量 (m ³ /h)		180	
消費電力 (W)		14-105	
最大電流 (A)		1.05 (7.05) ※4	
プレヒーター消費電力 (W) ※1		600	
プレヒーター最大電流 (A) ※1		6.0	
騒音 (dB) ※2		31.8 / 40.1 / 45.1	
本体質量 (kg)		18	
ダクト接続口径		φ125 (φ150) ※5	
ドレン管接続口径		φ16.5	—
換気方式		顕熱交換式	全熱交換式
有効換気量 ※3		98	98
温度交換率 (%) ※3	暖房条件	93	78
	冷房条件	77	62
全熱交換率 (%) ※3	暖房条件	—	69
	冷房条件	—	52
周囲温度	最低温度 (°C)	-2	
	最高温度 (°C)	40	
使用温度	外気温度 (°C)	-15~40	
	室内温度 (°C)	15~35 (24°C以上) ※6	
オプション部品		フィルター (G4 / 10枚)	
		高性能フィルター (F7 / 2枚)	

※1：プレヒーターのヒーター容量です。通常は、通電しません。

※2：騒音計測条件 (JIS B8628 100m³/h / 150m³/h / 180m³/h)

※3：100m³/hの場合

※4：()内の最大電流は、プレヒーター使用時です。

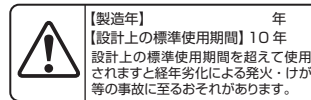
※5：φ150コネクタ (オプション部品) 使用の場合。

※6：夏期の冷房時の設定室温。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

<本体への表示内容>

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するため
に電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本体に表示しています。



<設計上の標準使用期間とは>

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件 (下表による) に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

本機器の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし JIS C9921-2 に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。

○「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準使用条件 JIS C9921-2 による

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	20°C	JIS C9603から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気8760時間/年	

STIEBEL ELTRON

熱交換換気システム

取付説明書

(保証書付)

- 型 名…… ●LWZ-130J
●LWZ-130JE

取付工事店様へ



- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに本書のP. 23「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。
- 点検口の設置に起因するメンテナンス、並びにアフターサービス上で生じた不都合に関しては、貴店の保証規定により是正していただくようお願い致します。

日本スティーベル株式会社




1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。











 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。


 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。

警告

禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
-  通信用ケーブルには、100Vの屋内配線を接続しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器や、コントローラに水をかけないでください。また、機器やコントローラが災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  機器や、コントローラは、屋外や、湿気が多い場所、浴室内、並びにP. 21「9仕様」に記載の周囲温度の範囲外になるような環境下には設置しないでください。
-  壁面や、床上に設置するのは、絶対にお止めください。
-  機器本体の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  外気の取り入れ口は、燃焼ガスや住宅の排気を吸い込む位置や、積雪等で埋もれる位置、水辺側の壁面には設けないでください。
-  電源ケーブル先端にコンセントプラグを使用しないでください。

注意

-  メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの壁材に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板等が電氣的に接触しないよう取り付けてください。

！ 指示

- ！ 電源ケーブルは、屋内配線と直結してください。
- ！ 機器はP. 28 「3-1. 機器の固定」に記載の離隔距離を守って設置してください。
- ！ 機器、並びにコントローラがしっかりと固定されていることを確かめてください。
- ！ 電源仕様、定格電流、及び消費電力を銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って正しい配線を行なってください。
- ！ 機器専用のブレーカを1台設置してください。
- ！ アースは第三種接地工事（D種接地）を行なってください。
- ！ 電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。
- ！ 機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡しをせず、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。
- ！ 機器の下面には、必ずフィルター交換と、機器の点検を行なえる点検口を設けてください。

⚠ 注意

⊘ 禁止

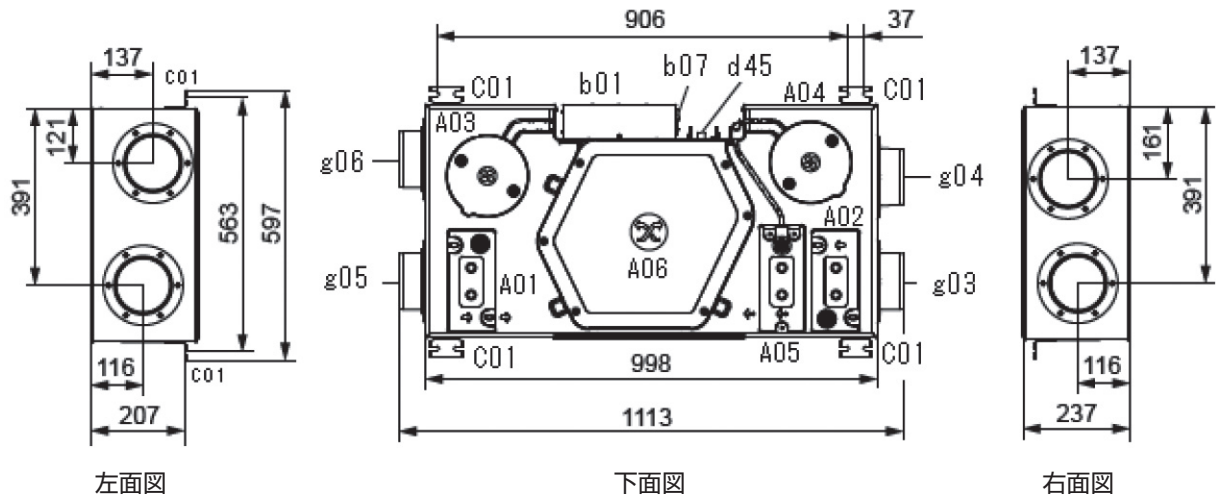
- ⊘ 設置前の機器は、雨水が当たる場所や、雪上、氷上に置かないでください。
- ⊘ 機器の天板や、ドレンパンの上に物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。
- ⊘ ドレン配管は、二重トラップにしないでください。（LWZ-130Jのみ）
- ⊘ LWZ-130JEのR Aの吸気口を浴室や、水蒸気が発生する場所に設けないでください。
- ⊘ 次の様なダクト工事はしないでください。（風量の低下や異常音発生、結露等の原因になります。）
 - ① 極端な曲げ。
 - ② 多数の曲げ。
 - ③ 急激なしぼり。
 - ④ ダクト接続部そばでの曲げ。
 - ⑤ ダクトを弛ませる。
 - ⑥ ダクトを固定していない。
 - ⑦ O A、E Aの配管に非断熱ダクトを使用する。
 - ⑧ 断熱範囲外に露出するS A、R Aの配管に非断熱ダクトを使用する。
 - ⑨ O Aの配管先端を、屋外の排気口や排ガスが発生する場所に設置する。
 - ⑩ O Aの配管先端を、池や湖等の水場に面した壁面に設置する。
 - ⑪ ダクト接続部に気密テープをまかない。
 - ⑫ ダクトを他の機器の給気に直結する。
- ⊘ ドレン水の凍結による水漏れ防止のため、屋外へのドレン水の排水や、ドレン配管の露出を行なわないでください。（LWZ-130Jのみ）
- ⊘ 機器とコントローラ間の配線は、蓄電池や、発電システム、またはそれらに接続している電気配線と平行に配線しないでください。
- ⊘ 機器の内部部品や交換用部品等を他の電気機器には使用しないでください。

！ 指示

- ！ 換気計算に基づいて選定した機器を設置してください。
- ！ 機器は、必ず機器の質量に耐えられる補強された物に固定してください。また、機器は地面に対して平行に設置してください。
- ！ 機器は、居室（寝室）等の天井や床下への設置は避けてください。
- ！ ドレンの配管工事は、横引き管に10%以上の勾配を必ずつけてください。（LWZ-130Jのみ）
- ！ オプション部品のドレンポンプを使用している場合は、ドレンポンプを出てすぐ上へ配管を伸ばしてから下り勾配をつけてください。
- ！ ドレンの配管には、必ずトラップを設け、機器本体内部の負圧が原因となる逆流を防止してください。（LWZ-130Jのみ）
- ！ ドレン配管上のトラップは、清掃できるようにしてください。（LWZ-130Jのみ）
- ！ 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により2mの鋼板立ち上がりダクトを取り付けるか、煙逆流防止ダンパー、及びその点検口を必ず設けてください。
- ！ ダクト配管は、機器から下り勾配になるように取り付け、必要に応じて断熱処理を確実に行ってください。
- ！ 給排気ダクトの先端には、雨水等の侵入を防ぐための屋外フード等を取り付けてください。
- ！ 海塩粒子等の吸い込みによる機器の著しい腐食を避けるため、海風の当たらない場所に外気（OA）取り入れ口を設けてください。
- ！ 地区計画等で指定がある場合や、防火区画を貫通する場所には防火ダンパーを設けてください。
- ！ 気密は経年劣化の少ないテープ、またはシール等を使用してください。
- ！ 取り付けの際は肌の露出を避け、作業用手袋、保護メガネ等を着用してください。（板金部品で怪我をする、ダクトの断熱材に使用されているグラスウール等で皮膚が刺激されることがあります。）
- ！ 仕上げ材、及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材等にはホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。
- ！ 設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。
- ！ 機器運転中は、機器にフィルターカセットを必ず正しい向きで挿入して固定してください。
- ！ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必要事項を記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。
- ！ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行ってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ！ 取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようにお渡しください。

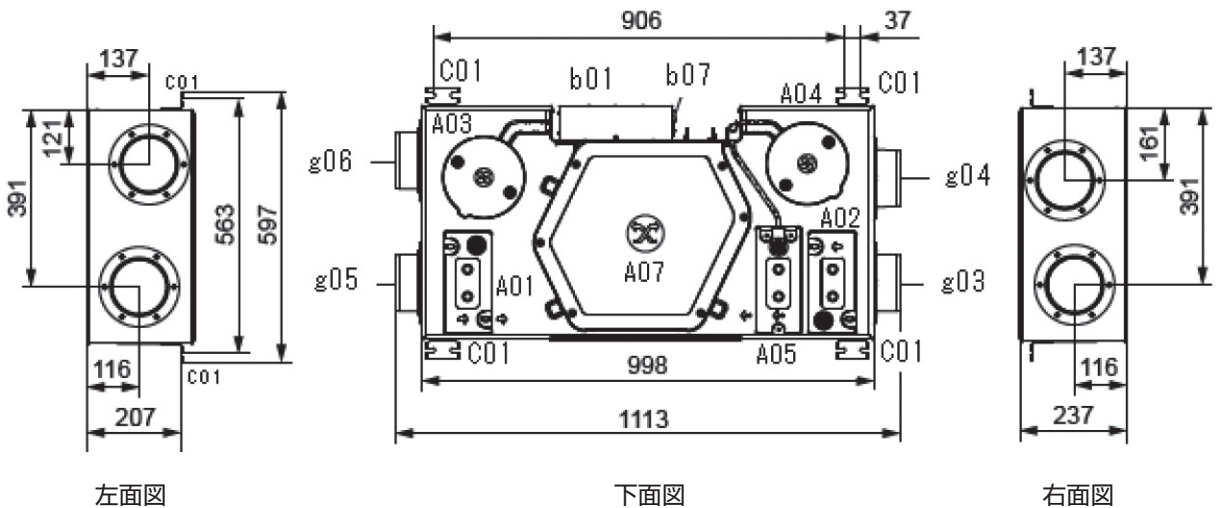
2. 各部のなまえと外形寸法

2-1. LWZ-130Jの各部のなまえ



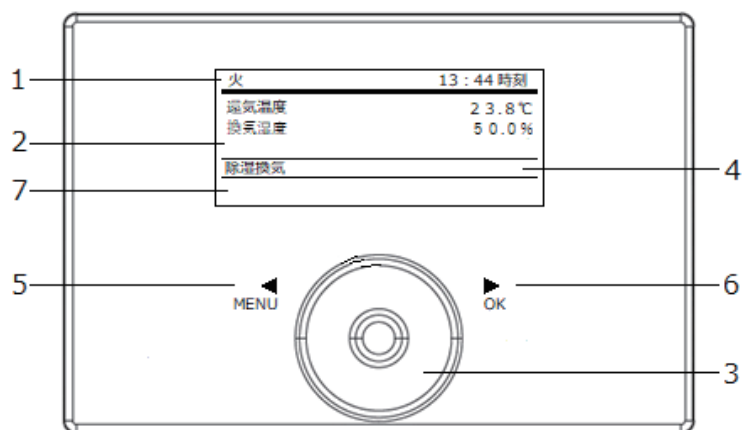
図番	名称	図番	名称	図番	名称
A01	室内側フィルターカセット	A06	顕熱型熱交換素子 (ドレンパン)	d45	ドレン管接続口
A02	屋外側フィルターカセット			g03	外気接続口 (OA)
A03	給気用ファンモーター	b01	制御ボックス	g04	排気接続口 (EA)
A04	排気用ファンモーター	b07	ケーブル引き出し口	g05	還気接続口 (RA)
A05	プレヒーター	C01	天吊り金具	g06	給気接続口 (SA)

2-2. LWZ-130JEの各部のなまえ



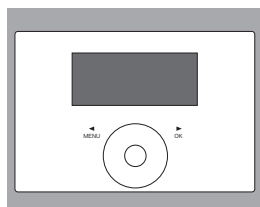
図番	名称	図番	名称	図番	名称
A01	室内側フィルターカセット	A07	全熱型熱交換素子 (素子カバー)	g03	外気接続口 (OA)
A02	屋外側フィルターカセット			g04	排気接続口 (EA)
A03	給気用ファンモーター	b01	制御ボックス	g05	還気接続口 (RA)
A04	排気用ファンモーター	b07	ケーブル引き出し口	g06	給気接続口 (SA)
A05	プレヒーター	C01	天吊り金具	—	—

2-3. コントローラの各部のなまえ

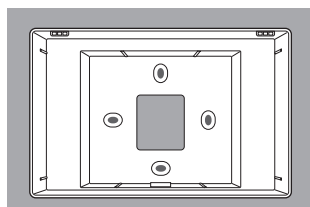


番号	名称	機能
1	日付時刻表示	曜日/時刻/設定内容を表示します。
2	運転情報表示	フィルター使用時間/室内温度/室内湿度等を任意で表示します。
3	タッチホイール	選択した項目の数値を増減します。
4	状態表示	現在の運転状態を表示します。
5	MENUボタン	設定変更画面に移行します。
6	OKボタン	設定の確定等を行ないます。
7	サブ表示	タイマー運転状態/フィルター交換情報等を表示します。

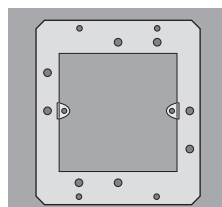
2-4. 標準構成部品



コントローラ



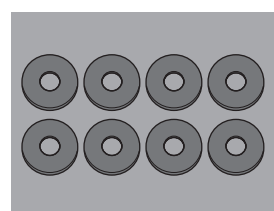
壁固定架台



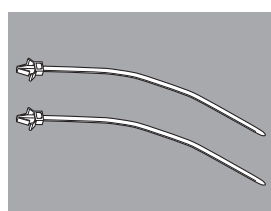
下地プレート



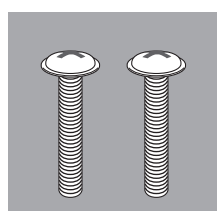
取扱取付説明書



ゴムワッシャー×8枚



インシュロック×2本



ナベ小ネジワッシャーヘッド
M3×30 ×2本

2-5. オプション部品

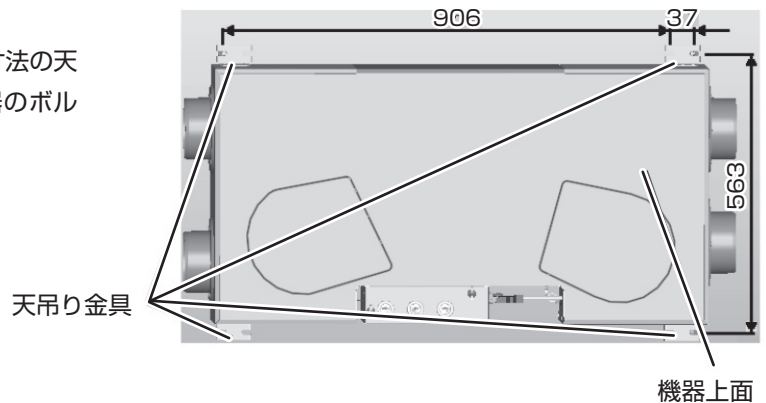
名称	LWZ-130J	LWZ-130JE
フィルター (G4/10枚)	○	○
高性能フィルター (F7/2枚)	○	○
150φコネクタ	○	○
リモコン用4芯ケーブル (10m巻)	○	○
ドレンホース (2m)	○	×
ドレンホースカフス	○	×
ドレンポンプ	○	×

○：使用可能オプション部品 ×：使用できないオプション部品

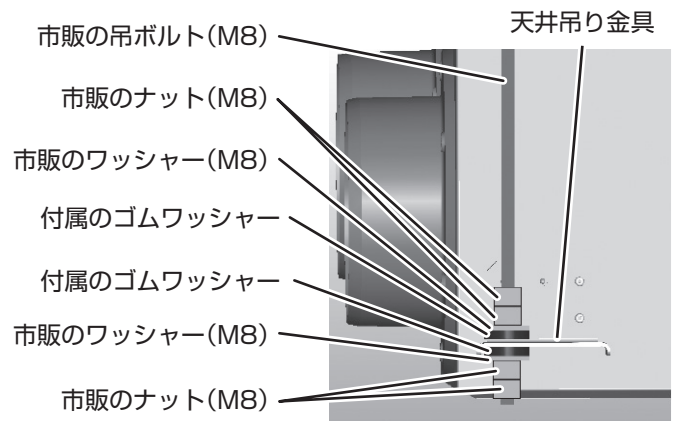
3. 機器の設置

3-1. 機器の固定

- ①機器の据え付け位置を決めます。
- ②P. 26 「2. 各部のなまえと外形寸法」に記載の外形寸法の天吊り金具の位置から、市販の吊ボルト (M8) を機器のボルトピッチに合わせて設置位置に固定しておきます。



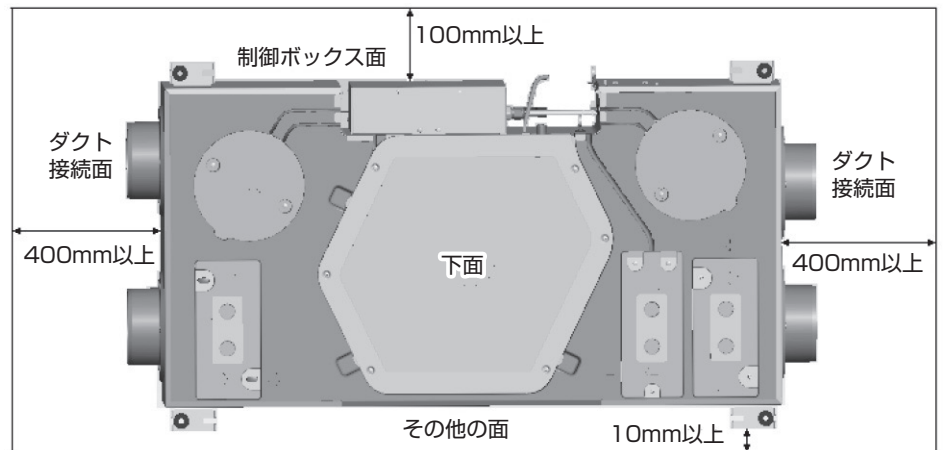
- ③市販の吊ボルト (M8) を下図のように付属のゴムワッシャー、市販のワッシャーとナットで機器に固定します。



✓ ご注意

- 吊ボルトが機器に接触しないようにしてください。
- 必ずゴムワッシャーを挟んでください。ゴムワッシャーを挟まないと振動音、異音の原因となります。

- ④機器が水平になるように固定位置を調整します。
- ⑤機器の離隔が守られていることを確認します。



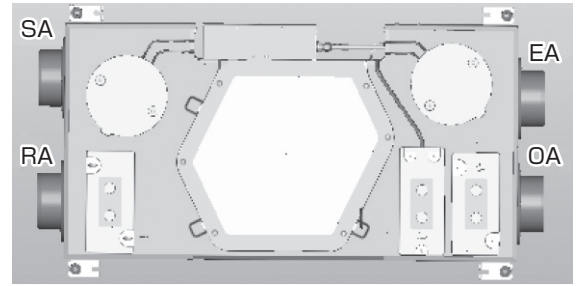
	ダクト接続面	制御ボックス面	上面	下面	その他の面	
離隔距離	400mm以上	100mm以上	10mm以上	10mm以上	10mm以上	

✓ ご注意

- オプション部品のドレンポンプを使用しない場合の下面の離隔距離は、ドレン配管が機器から10%以上の下り勾配が確保できるようにしてください。

3-2. ダクト配管

- ①EAダクト接続口と、OAダクト接続口には、市販のφ125の断熱ダクトを配管します。
- ②RAダクト接続口と、SAダクト接続口には、市販のφ125のダクトを配管します。ただし、機器や、ダクトが住宅の断熱の外側にある場合、または通る場合は断熱ダクトを使用します。



マーク	ダクト接続	マーク	ダクト接続
	OAダクト接続口		SAダクト接続口
	EAダクト接続口		RAダクト接続口

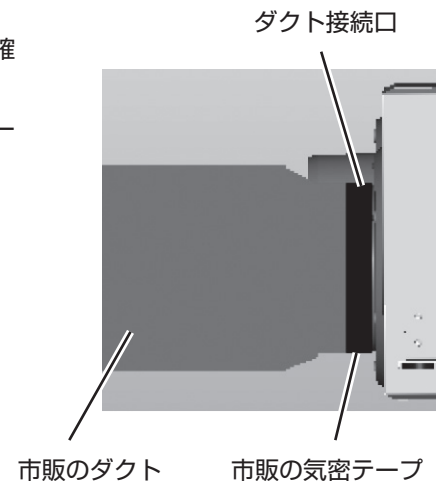
MEMO

- オプション部品の「150φコネクタ」を使用している場合は、市販のφ150のダクトを使用します。

- ③ダクト接続前に、市販品のダクトや機器内部に切粉、異物等が入っていないことを確認します。
- ④機器のダクト接続口に市販のダクトを差し込み、風漏れがないように市販の気密テープ等でダクト接続口に固定します。

ご注意

- 断熱ダクトを接続する場合は、ダクトと断熱材間に風漏れがないように気密処理してください。
- 圧力損失が大きいシステム構成の場合や、140m³/h以上の風量で常時運転する場合は「150φコネクタ」を使用してください。



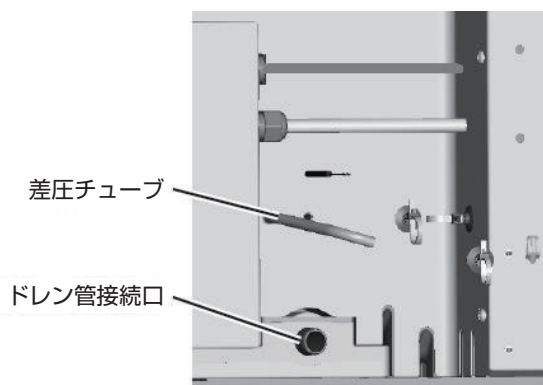
- ⑤市販のフレキダクト等のダクト類は、機器から管末に向かって下記の下り勾配で弛むことなく配管し、約1m間隔で天井から吊ります。

風向	接続口	勾配
屋外への排気	EA	1/100
室内への給気	SA	1/100
室内からの還気	RA	1/100 浴室等の湿気の多い場所は1/30
屋外からの給気	OA	1/30

- ⑥市販のフレキダクトを曲げる場合は、曲率半径をダクトの外径以上にします。
- ⑦市販のフレキダクトを縦に配管する場合は、必ず頭頂部を天井から吊ります。

3-3. ドレン配管 (LWZ-130Jのみ)

- ①機器のドレン管接続口に、市販の内径φ16のドレンホース（以下、ドレンホースと表記）を根元まで差し込み、市販のビニルテープで固定します。
- ②上部の差圧チューブの先端を市販のビニルテープで封止します。
- ③ドレンホースは、ドレン管接続口より高い位置にならないように機器本体から10%以上の下り勾配で、排水可能なところまで配管してください。
- ④ドレンホースは、途中に必ずトラップを接続する、またはドレンホース自体がトラップの役割を果たすようにします。
- ⑤ドレンホースを屋内の排水管等に接続する場合は、間接排水として、屋内の排水管側で別途トラップを設けます。



✓ ご注意

- ドレンホース内には冷たいドレン水が流れますので、外表面が結露する場合があります。必要に応じて、断熱ドレンホース等を使用してください。

✎ MEMO

- ドレン配管にオプション部品のドレンポンプを使用した場合は、ドレンポンプから出てすぐにドレン配管を縦に持ち上げてください。ドレンポンプから出てすぐに下り勾配を取るとエアだまりにより、ドレンポンプが破損する可能性があります。
- オプション部品のドレンポンプの揚程は7mです。

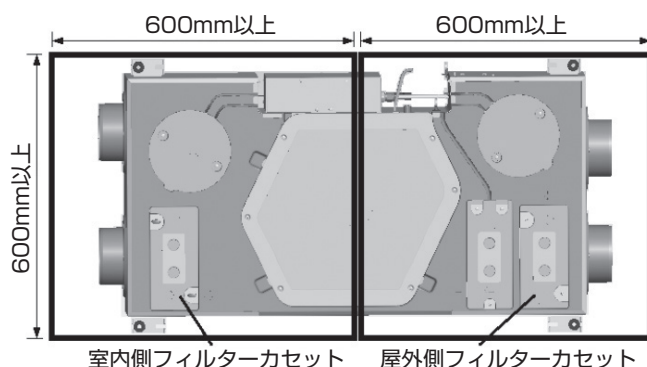


3-4. 点検口の設置

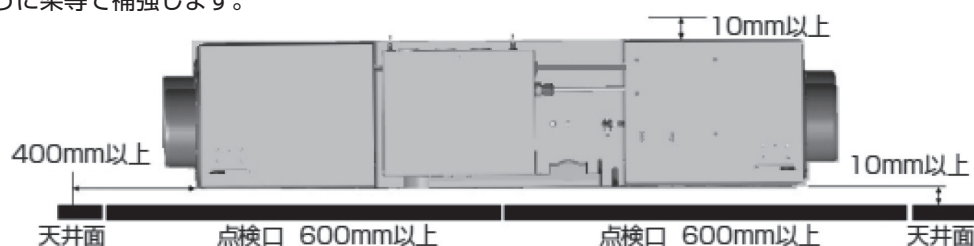
- ①点検口は、フィルターカセットを取り出せるように、オプション部品の吊り化粧パネル、または□600mm以上の点検口を2つ使用します。

✎ MEMO

- オプション部品の吊り化粧パネルの取付方法は、オプション部品に同梱の取付要領を参照してください。



- ②点検口は、機器下面から10mm以上離隔をとってください。
- ③天井面に点検口が固定できるように梁等で補強します。



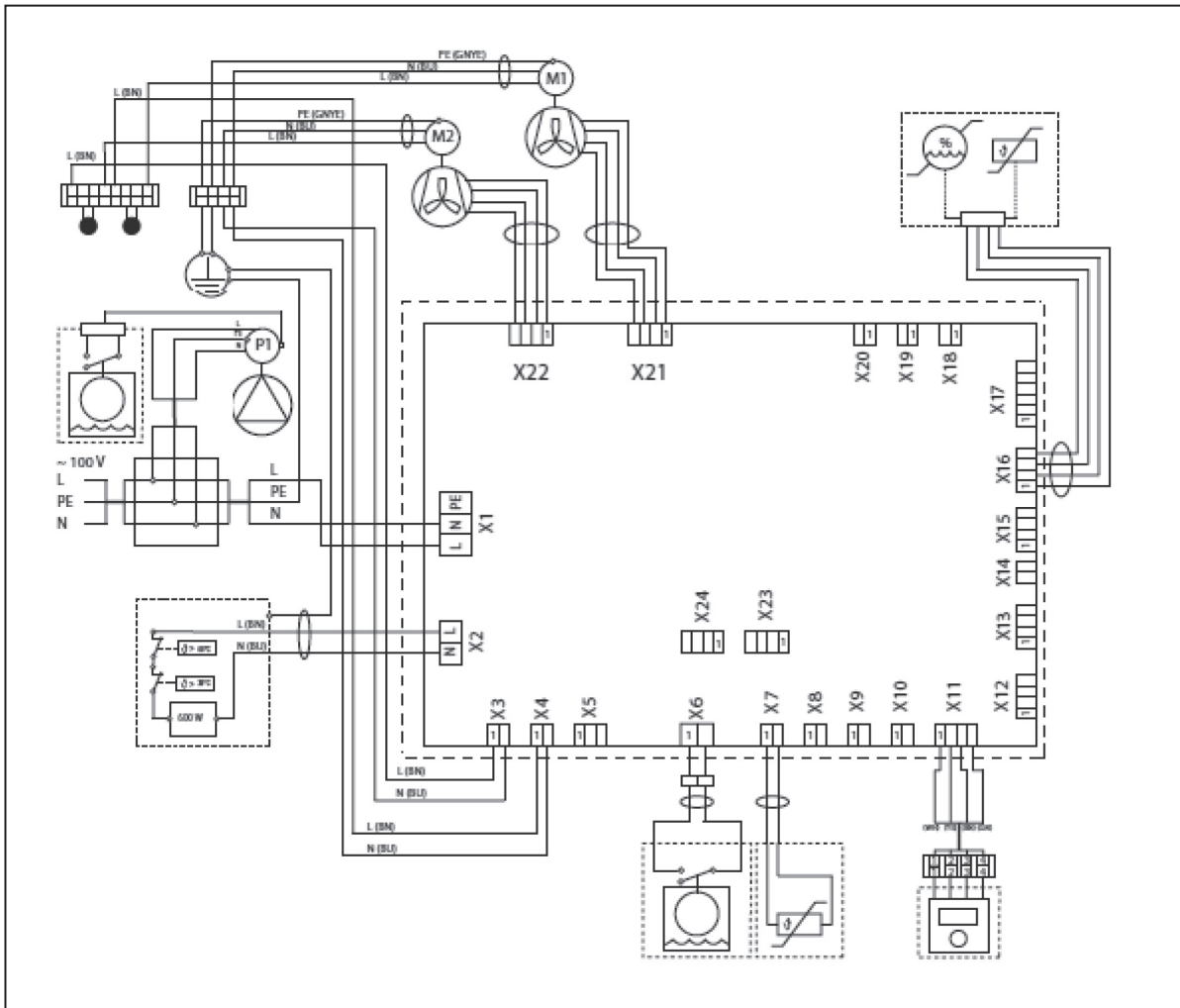
4. 電気配線とコントローラの固定

4-1. 機器内部配線図

- ①機器の電源ケーブルと屋内配線を、内線規程に従い直結します。
- ②機器のアース線と屋内のアース用配線を、内線規程に従い直結します。

👍 ご注意

- コンセントプラグ等は使用しないでください。
- 過電圧カテゴリⅢで完全遮断をする全極の接点分離を配線規則に従って固定配線に設けてください。

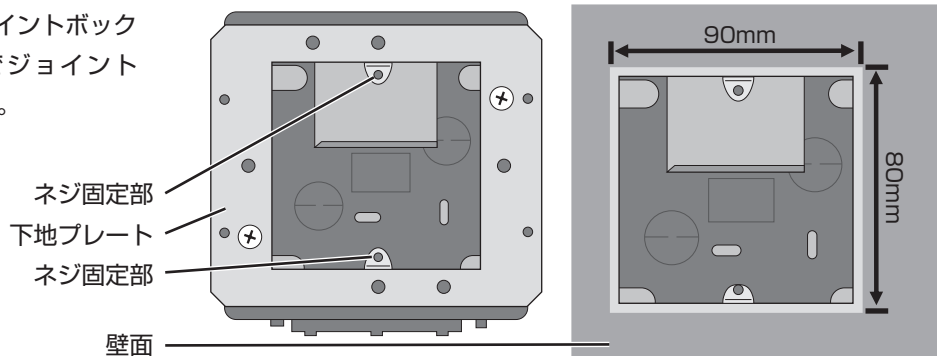


- A1 : 基板
- A2 : コントローラ
- B1 : 還気(RA)温湿度センサー
- B2 : 外気(OA)温度センサー
- B3 : フロートスイッチ
- F1 : 手動復帰式過昇温防止器
- H : プレヒーター
- M1 : 給気(OA)用ファンモーター
- M2 : 排気(RA)用ファンモーター
- N1 : 自動復帰式過昇温防止器
- P1 : ドレンポンプ (オプション)

- X1 : 主電源コネクタ
- X2 : プレヒーター用電源コネクタ
- X3 : ファンモーター用電源コネクタ(給気OA用)
- X4 : ファンモーター用電源コネクタ(排気RA用)
- X6 : フロートスイッチ用コネクタ
- X7 : 外気(OA)温度センサー用コネクタ
- X11 : コントローラ用コネクタ
- X16 : 還気(RA)温湿度センサー用コネクタ
- X21 : ファンコントロール用コネクタ(排気RA用)
- X22 : ファンコントロール用コネクタ(給気OA用)

4-2. コントローラの固定と通信ケーブルとの接続

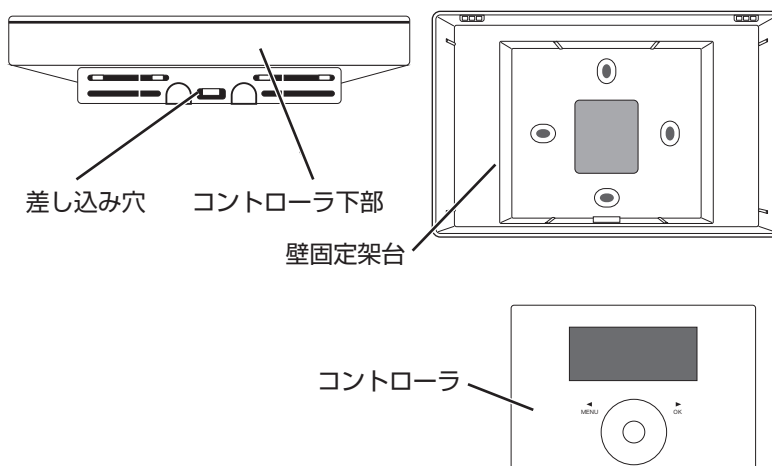
- ①下地プレートを市販のダブルのジョイントボックスに、ネジ固定部が上下の位置でジョイントボックス内になるように固定します。



おねがい

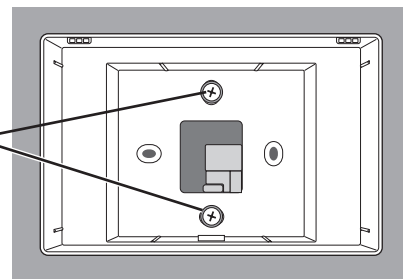
- 壁には縦80mm横90mm以上のコントローラ設置用の穴を開けないでください。コントローラで壁の穴を隠せなくなります。

- ②コントローラ下部の穴にマイナスドライバーを差し込み上にあおり、コントローラ本体と、壁固定架台を分離します。



- ③同梱の2本のナベ小ネジワッシャーヘッド M3×30で、壁固定架台を差し込み穴が下になるように、下地プレートに固定します。

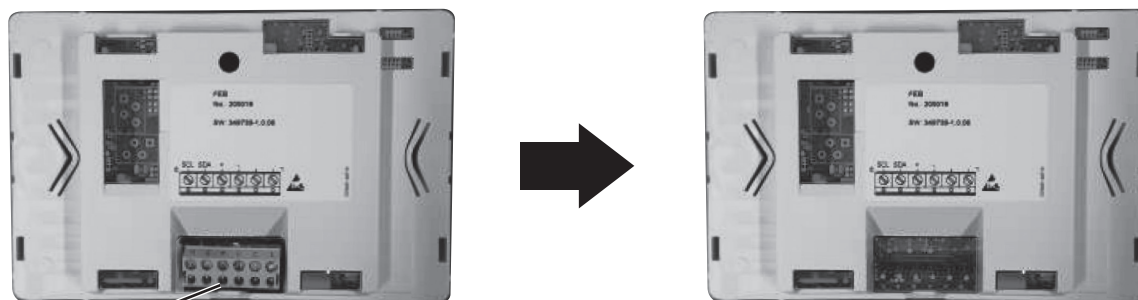
ナベ小ネジワッシャーヘッド
M3×30



MEMO

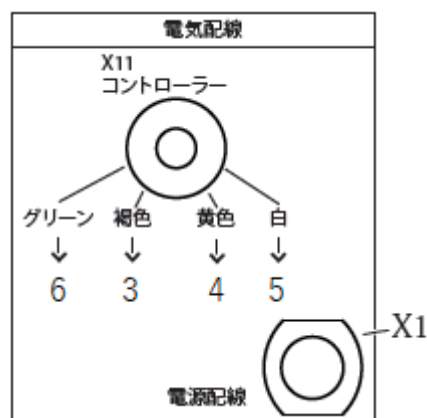
- ネジの長さが不足している場合は、太さが同サイズで長さの長い市販のネジを使用してください。

④コントローラから端子台を写真の手前側に引いて取り外し、端子台に機器の通信ケーブルを接続します。



端子台

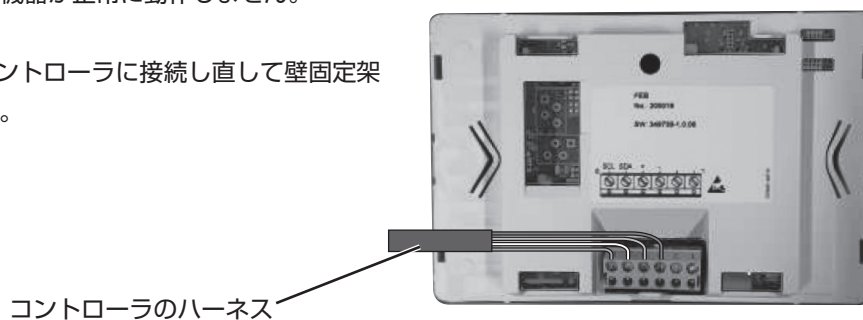
コントローラの端子番号	通信ケーブルの色
1	接続しない
2	接続しない
3	茶 (3 GND)
4	黄 (2 +5V DC)
5	白 (1 SDA)
6	緑 (4 SCL)



✓ ご注意

●配線の接続を間違えると機器が正常に動作しません。

⑤コントローラの端子台をコントローラに接続し直して壁固定架台に押し込んで固定します。



コントローラのハーネス

5. 各種設定変更

①取扱取付説明書「P.7 4-1項」の「MENUボタン」を3秒間長押し後に以下の操作を行ないます。

②「MENUボタン」を押して、メニュー表示を開きます。

③「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

④メニュー表示で「グループ設定」を選択して「OKボタン」を押すと、各種設定の変更が可能となります。

⑤パスコードの入力画面が表示されますので、「タッチホイール」で数値を選択し、「OKボタン」で「1000」を入力します。

⑥最後の一行を「OKボタン」を押して確定すると、前の表示に戻り「モード」欄が「サービス」に切り替わります。

MEMO

●「モード」欄を「サービス」に切り替えていないと表示されない項目がありますのでご注意ください。

4 /
運転情報 ▶
運転状態 ▶
プログラム ▶
グループ設定 ▶
戻る ▶

/4グループ設定/	
モード ▶	標準
基本 ▶	
風量 ▶	
運転情報 ▶	
除湿換気 ▶	

/グループモード	
+ / -	
0 * * *	
- / +	

/4グループ設定/	
モード ▶	サービス
基本 ▶	
ファン制御 ▶	定風量
風量 ▶	
運転情報 ▶	

5-1. 運転情報

①メニュー表示で「運転情報」を選択して「OKボタン」を押すと、各種センサーからの情報内容が表示されます。

②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して表示内容を切り替えます。

③「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

MEMO

●グループ設定で「モード」欄が「標準」の場合は、「還気温度」と「還気湿度」のみ表示されます。

/4運転情報/	
還気温度	25.0℃
還気湿度	44.0%
排気露点	11.4℃
外気温度	25.1℃
外気湿度	44.1%

/4運転情報/	
外気露点	11.4℃
吸気ファン制御	22.4%
吸気ファン回転数	1209 1/min
排気ファン制御	23.7 %
排気ファン回転数	1422 1/min

/4運転情報/	
ヒーターレジスター制御	00 %
戻る ▶	

5-2. 運転状態

- ①メニュー表示で「運転状態」を選択して「OKボタン」を押すと、各種運転状態が表示されます。
- ②「タッチホイル」を時計回り、または反時計回りに回して表示内容を切り替えます。
- ③「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/4 運転状態 /	
メッセージリスト	00
メッセージリストの削除	オフ
フィルター使用時間	2907 h
フィルターリセット	オフ
フィルター交換周期	90 d

/4 運転状態 /	
機器の運転時間	237 d
ファンの運転時間	121 d
戻る ▶	

(1) メッセージリスト

- ①「メッセージリスト」の横のカウンターに「00」以外の数値が記載されている場合は、「タッチホイル」で「メッセージリスト」を選択して、「OKボタン」を押すと、エラーコードが表示されます。
- ②「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/運転/4メッセージリスト 1/1	
#	コード
01.	0010
02.	0008

(2) メッセージリストの削除

- ①「メッセージリストの削除」を選択すると、「メッセージリストの削除」が表示されるので、「タッチホイル」で「オン」を選択して「OKボタン」を押すと、メッセージリストのカウンターが「00」に戻ります。
- ②「メッセージリストの削除」の設定は、自動的に「オフ」になり、前の画面に戻ります。

/運転/4メッセージリストの削除	
+	
オフ	
-	

✓ ご注意

- メッセージリストは、正常状態に戻るまでは削除しないようにしてください。

(3) フィルターリセット

- ①取扱説明書「P.11 5-2項」を参照してください。

5-3. プログラム

- ①取扱説明書「P.12 5-3項」を参照してください。

5-4. グループ設定

①メニュー表示で「グループ設定」を選択して「OKボタン」を押すと、各種設定の変更が可能となります。

/4グループ設定/	
モード▶	標準
基本▶	
風量▶	
運転情報▶	
除湿換気▶	

②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して変更した設定を選択して「OK」ボタンを押します

/4グループ設定/	
パワフル換気▶	
デフロスト▶	
凝結水防止▶	
ファンの作動▶	オン
機器情報▶	

③「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/4グループ設定/	
戻る▶	

5-4-1. モード

①「モード」が「サービス」になっていることを確認します。

/4グループ設定/	
モード▶	サービス
基本▶	
ファン制御▶	定風量
風量▶	
運転情報▶	

5-4-2. 基本

①取扱説明書「P.13 5-4-2項」を参照してください。

5-4-3. 風量

①各風量レベルの変更、給気量の補正值の変更を行なうことができます。

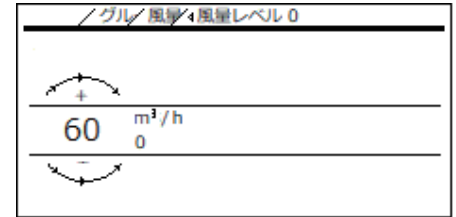
②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/グル/4風量/	
風量レベル0	60 m ³ /h
風量レベル2	140 m ³ /h
風量レベル1	200 m ³ /h
風量レベル3	350 m ³ /h
給気量の補正	00 m ³ /h

/グル/4風量/	
戻る▶	

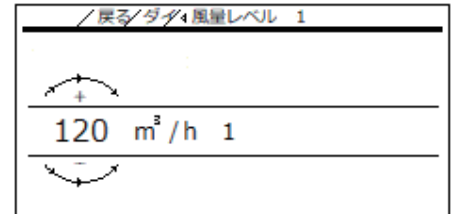
(1) 風量レベル0

- ①「風量レベル0」を選択すると、「タッチホイール」で $40\text{m}^3/\text{h}$ ～ $120\text{m}^3/\text{h}$ の範囲で風量を変更することができます。
- ②変更後「OKボタン」を押して、風量を確定します。
- ③風量を確定後は、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



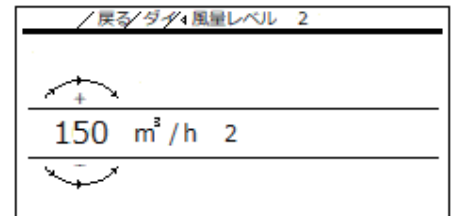
(2) 風量レベル1 (設置する建物の 0.3回/hの風量)

- ①「風量レベル1」を選択すると、「タッチホイール」で $40\text{m}^3/\text{h}$ ～ $180\text{m}^3/\text{h}$ の範囲で風量を変更することができます。
- ②変更後「OKボタン」を押して、風量を確定します。
- ③風量を確定後は、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



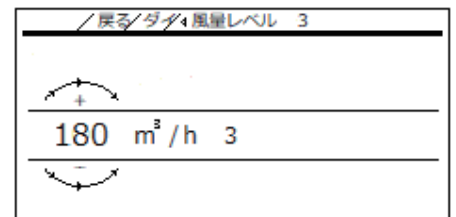
(3) 風量レベル2 (設置する建物の 0.5回/hの風量)

- ①「風量レベル2」を選択すると、「タッチホイール」で $40\text{m}^3/\text{h}$ ～ $180\text{m}^3/\text{h}$ の範囲で風量を変更することができます。
- ②変更後「OKボタン」を押して、風量を確定します。
- ③風量を確定後は、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



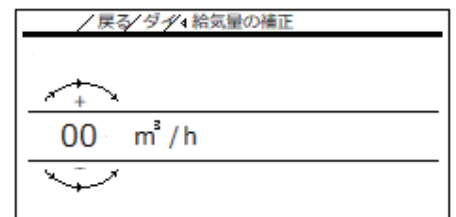
(4) 風量レベル3

- ①「風量レベル3」を選択すると、「タッチホイール」で $110\text{m}^3/\text{h}$ ～ $180\text{m}^3/\text{h}$ の範囲で風量を変更することができます。
- ②変更後「OKボタン」を押して、風量を確定します。
- ③風量を確定後は、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



(5) 給気量の補正

- ①「給気量の補正」を選択すると、「タッチホイール」で $-100\text{m}^3/\text{h}$ ～ $+100\text{m}^3/\text{h}$ の範囲で給気量の補正值を変更することができます。
- ②変更後「OKボタン」を押して、給気量の補正值を確定します。
- ③給気量の補正值を確定後は「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

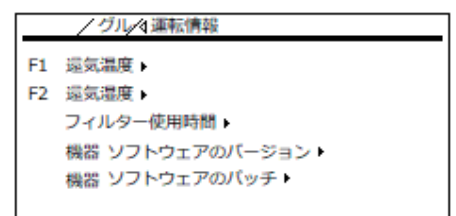


✓ご注意

- 「給気量の補正」の補正值を $0\text{m}^3/\text{h}$ 以外に設定すると、給気と排気の風量が変わり熱交換効率が低下します。通常は、設定変更しないでください。

5-4-4. 運転情報

- ①取扱説明書「P.9 4-3項」を参照して変更します。



5-4-5. 除湿換気

①除湿換気時の運転条件の設定変更を行なうことができます。

②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

(1) 湿度制御の作動

①「湿度制御の作動」を選択すると、「タッチホイール」で湿度制御機能のオン/オフを変更できます。

②変更後「MENUボタン」を押すと変更が確定となり、前の表示に戻ります。

/ グル / 除湿換気 /	
湿度制御の作動	オン
除湿換気の間隔	01 h
設定湿度	65.0 %
湿度測定の特機時間	05 min
戻る ▶	

/ グル / 除湿 / 湿度制御の作動	
+	
オン	
-	

(2) 除湿換気の間隔

①「除湿換気の間隔」を選択すると、「タッチホイール」で除湿換気を開始するまでの時間を1～24時間の幅で変更できます。

②変更後「MENUボタン」を押すと変更が確定となり、前の表示に戻ります。

/ グル / 除湿 / 除湿換気の間隔	
+	
01 h	
-	

(3) 設定湿度

①「設定湿度」を選択すると、「タッチホイール」で除湿換気が作動する設定湿度を5～95%の幅で変更できます。

②変更後「MENUボタン」を押すと変更が確定となり、前の表示に戻ります。

/ グル / 除湿 / 設定湿度	
+	
65.0 %	
-	

(4) 湿度測定の特機時間

①「湿度測定の特機時間」を選択すると、「タッチホイール」で除湿換気の最低限の継続時間を5～15分の幅で変更できます。この時間以降、湿度を測定して除湿換気の作動継続/停止を決めます。

②変更後「MENUボタン」を押すと変更が確定となり、前の表示に戻ります。

/ グル / 除湿 / 湿度測定の特機時間	
+	
05 min	
-	

5-4-6. パワフル換気

①パワフル換気の継続時間の設定変更を行なうことができます。

②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

③「パワフル換気の継続時間」を選択すると、「タッチホイール」でパワフル換気の継続時間を1～240分の幅で変更できます。

②変更後「MENUボタン」を押すと変更が確定となり、前の表示に戻ります。

/ グル / パワフル換気 /	
パワフル換気の継続時間	240 min
戻る ▶	

/ グル / パワ / パワフル換気の継続時間	
+	
240 min	
-	

5-4-7. デフロスト

- ①デフロスト時の運転条件の設定変更を行なうことができます。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

/グル/4デフロスト/	
デフロスト開始温度	4.0℃
デフロスト停止温度	-3.0℃
プレヒーターの作動	オン
デフロストモード	外気温度制御
戻る▶	

(1) デフロスト開始温度

- ①「デフロスト開始温度」を選択すると、「タッチホイール」でデフロスト開始温度を-5~15℃の幅で変更できます。
- ②設定した温度に達するとプレヒーターが停止します。
- ③変更後「MENUボタン」を押すと変更が確定となり、前の表示に戻ります。

/グル/4デフロスト開始温度	
+	
4.0	℃
-	

(2) デフロスト停止温度

- ①「デフロスト停止温度」を選択すると、「タッチホイール」でデフロスト停止温度を-10~5℃の幅で変更できます。
- ②設定した温度に達するとプレヒーターが通電します。
- ③変更後「MENUボタン」を押すと変更が確定となり、前の表示に戻ります。

/グル/4デフロスト停止温度	
+	
-3.0	℃
-	

(3) プレヒーターの作動

- ①「プレヒーター作動」を選択すると、「タッチホイール」でプレヒーターのオン/オフを切り替えることができます。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

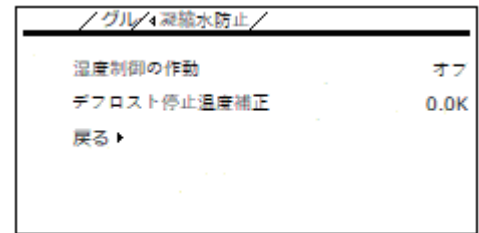
/グル/4プレヒーターの作動	
+	
オン	
-	

MEMO

- デフロスト運転について：冬期等低外気温条件での運転時に熱交換器の着霜や氷結を防ぐために給気風量を減らした除霜運転を行ないます。
- プレヒーターはこの除霜運転を行なうことで換気風量が減らないようにするために外気をヒーターで加温する機能になります。

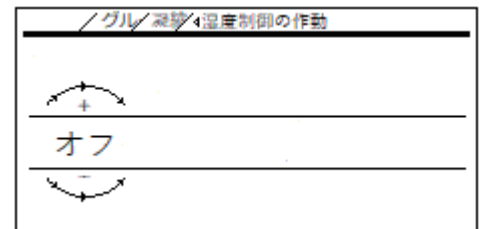
5-4-8. 凝縮水防止

- ①デフロスト時の運転条件の設定変更を行なうことができます。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



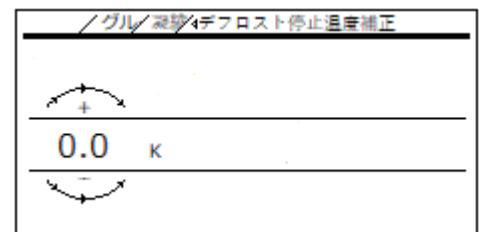
(1) 湿度制御の作動

- ①「湿度制御の作動」を選択すると、「タッチホイール」で凝縮水防止のオン/オフを変更できます。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



(2) デフロスト停止温度補正

- ①「デフロスト停止温度補正」を選択すると、「タッチホイール」でデフロスト停止温度補正を-5~5 Kの間隔で変更できます。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。

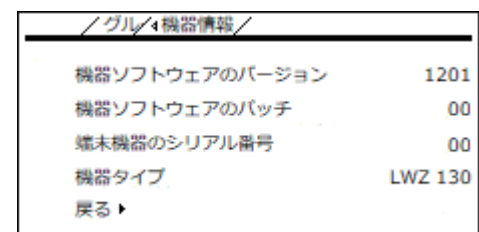


5-4-9. ファンの作動

- ①取扱説明書「P. 16 5-4-10項」を参照してください。

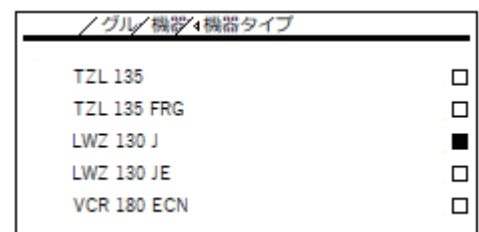
5-4-10. 機器情報

- ①「機器情報」を選択すると、「機器情報」が表示されます。
- ②「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか、「MENUボタン」を押すと前の表示に戻ります。



(1) 機器タイプ

- ①「機器タイプ」を選択すると、「タッチホイール」で機器を選択します。
- ②「タッチホイール」で変更後、「戻る」を選択して「OKボタン」を押すか「MENUボタン」を押すと変更が確定となり、前の表示に戻ります。



MEMO

- LWZ-130Jをご使用の方は「LWZ 130 J」を選択します。
- LWZ-130JEをご使用の方は「LWZ 130 JE」を選択します。



5-5. ダイレクト設定の変更

①取扱説明書「P. 7 4-1項の「MENUボタン」を3秒間長押し後に以下の操作を行ないます。

②「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、状態表示の欄を「ダイレクト設定」に設定して「OKボタン」を押します。

③「タッチホイール」を時計回り、または反時計回りに回して、設定したい項目を選択します。

④「OKボタン」を押して③で選択した項目を変更できるようになります。

⑤「MENUボタン」を押すと変更が確定となり前の表示に戻ります。

✓ ご注意

●施工者用パスコードは「タッチホイール」で数値の選択、「OKボタン」で数値の確定を4回行ない、「1000」を入力してください。

火	13:44 時刻
室温	23.8℃
換気	50.0%
ダイレクト設定	

戻る/ダイレクト設定	
+	
P1	Set room temperature
-	

戻る/室温設定	
+	
20.0	℃
-	

戻る/ファン制御	
+	
0	* * *
-	

5-6. 施工者用設定モードのパラメーター一覧

表示	項目	初期値	単位	最小値	最大値	備考
P2	パワフル換気の継続時間	30	分	1	240	パワフル換気の動作時間
P4	フィルターリセット	オフ	—	オフ/オン		点灯しているフィルター清掃アイコンを消せます。
P6	風量レベル0	100	m ³ /h	40	120	除湿換気 表示の風量
P7	風量レベル1	140	m ³ /h	40	180	レベル1 表示の風量
P8	風量レベル2	180	m ³ /h	40	180	レベル2 表示の風量
P9	風量レベル3	180	m ³ /h	110	180	レベル3 表示の風量
P14	給気量の補正	0	m ³ /h	-100	100	
P15	湿度測定の特機時間	1	h	1	24	除湿換気時の設定 (ファン停止時間)
P16	湿度計測時間設定	5	分	5	15	除湿換気時の設定 (湿度計測間隔)
P17	設定湿度	65	%	5	95	除湿換気時の設定
P18	デフロスト開始温度	2	℃	-5	15	プレヒーターでの設定温度
P19	フィルター交換間隔	90	日	1	365	
P22	プレヒーターの作動	オン	—	オン/オフ		
P28	ファンの作動	オン	—	オン/オフ		オン：機器が動作 オフ：機器が停止
P29	機器タイプ	3/4	—	—	—	3：LWZ130J 4：LWZ130JE
P30	デフロスト停止温度	-1	℃	-10	5	プレヒーターの通電開始温度
P31	湿度制御の作動	オフ	—	オフ/オン		湿度の増減により風量を制御
P32	湿度制御の作動	オフ	—	オフ/オン		夏型結露防止機能のオン/オフ
P33	デフロスト停止温度補正	0	K	-5	5	夏型結露防止機能の温度補正
P35	冷房/暖房	冷房/暖房	—	—	—	冷房/暖房：冷房暖房両方で動作 冷房：冷房で動作 暖房：暖房で動作
P70	メッセージリストの削除	オフ	—	オフ/オン		施工者用
P80	時刻/日付	—	—	月/火/水/木 金/土/日		月：月曜日 火：火曜日 水：水曜日 木：木曜日 金：金曜日 土：土曜日 日：日曜日
P81	時刻/日付	—	—	00:00	23:59	—

外気結露防止機能P32=オン

外気により機器内部が結露しないように下記の条件を満たした場合に機器を停止します。

機能が働いた後、60分間機器が停止します。

その後5分間隔で停止状態を継続するかを外気温度から確認します。

条件1：外気温度 (OA) > 還気温度 (RA)

条件2：外気露点温度 (OA) > 還気温度 (RA) + P33

5-7. エラーコード一覧

エラーコード	該当部品	現象	対応方法
----	なし	エラーなし	—
008	排気湿度センサー	結露防止ができない。	排気湿度センサーのコネクタ確認 排気湿度センサーの交換
010	排気温度センサー	現象なし	排気温度センサーのコネクタ確認 排気温度センサーの交換
011	給気温度センサー	現象なし	給気温度センサーのコネクタ確認 給気温度センサーの交換
016	フロースイッチ	ファン停止	フロースイッチのコネクタ確認 フロースイッチの交換
017	給気温度センサー	給気ファン停止	給気温度センサーの交換
018	給気温度センサー	給気ファン停止	給気温度センサーの交換
101	給気ファン	給気ファン停止	給気ファンの電源コネクタの確認 給気ファンの交換
102	排気ファン	排気ファン停止	排気ファンの電源コネクタの確認 排気ファンの交換
105	給気温度センサー	給気ファン停止	ダクトの給気回路の確認 給気温度センサーの交換 基板の交換
201	基板	プログラム運転停止	基板の交換
202	基板	プログラム運転停止	基板の交換
203	各種センサー	結露防止ができない	配線確認 各種センサーの交換
204	給気温度センサー	給気ファン停止	プレヒーターの交換 給気温度センサーの交換
205	給気温度センサー	給気ファン停止	コントローラへの配線
ディスプレイ 不点灯	電源コネクタ	機器停止	ブレーカの確認 配線接続の確認 電源コネクタの確認
	コントローラ用コネクタ	ファン動作 ディスプレイ不点灯	コントローラ用コネクタの確認 コントローラの交換

6. 試運転

- ①給排気グリル、給排気フードが適切に施工されていることを確認します。
- ②ドレンが適切に配管されていること、フィルター交換作業ができることを確認します。
- ③機器の電源電圧を確認の上、機器専用のブレーカを「入」(ON)にして運転を開始します。
- ④「P.33 5項」を参照して、各種設定の変更、並びに「P.35 5-4-3項」の風量を必ず設置した住宅に適した風量に変更します。
- ⑤各給排気グリルの風量を確認し、設計風量が確保できるよう各給排気グリルの開度を調節します。
- ⑥機器専用のブレーカを「切」(OFF)にします。
- ⑦下表の試運転確認表に試運転の記録を記入します。

検査日： 年 月 日

検査会社名						
検査担当者名						
設置機種						
電源電圧						
設定風量 (0.5回/h)		風量レベル0	m ³ /h			
		風量レベル1	m ³ /h			
		風量レベル2	m ³ /h			
		風量レベル3	m ³ /h			
項目	項目	確認内容			合否	
①	コントローラの表示	正常に表示される。				
②	運転状況の確認	異常な値が表示されていない。				
③	お部屋名	風量	設定風量	風向 (給気/排気)	合否※	
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
				給気 排気		
		外壁 給気フード			給気	
		外壁 排気フード			排気	
項目	項目	確認内容			合否	
④	ドレン排水 (LWZ-130Jのみ)	ドレン水が流れる。				
⑤	エラーの有無	修理すべきエラーがない。				
⑥	電源	ブレーカの「入/切」で機器の運転/停止を切り替えることができる。				
備考						

※③の合否は、設定風量 ≤ 風量の場合が「合格」です。

保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル(株)に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		型名	LWZ-130 J	
	お名前			LWZ-130 JE	
お取扱い店	社名	取扱者	製造番号	— —	
	〒 住所			印	保証期間
お取付け日	電話 ()	年 月 日			

機器はお取付け日から1ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(無料修理規定)

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル(株)にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。「お取付け日」の記載が無い場合、日本スティーベル(株)の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。
- ご転居等、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル(株)にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
 - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - お取付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス害等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
 - 指定外の電源(電圧・周波数)で使用した場合の故障や損傷。
 - 一般の建物以外(例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設)等で使用された場合の故障や損傷。
 - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - 消耗部品の交換、及び保守等の費用。
 - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
 - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
 - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！チャンネル登録を宜しくお願い致します。



@nihonstiebel
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル (Nihon Stiebel)
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル株式会社
機器の設定、お手入れ、施工動画等
ご利用者様へのインタビュー動画等



STIEBEL ELTRON

<https://www.stiebel-eltron.co.jp>
製品一覧、会社概要、カタログ、取扱取付説明書、仕様図のダウンロード



日本スティーベル株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル 2階
TEL:03-5715-4655
(営業時間外・土日・祝日及び特定休業日を除く)

■製造者 **STIEBEL ELTRON**

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください